

令和6年2月13日

令和5年における 特殊詐欺の状況について

警視庁犯罪抑止対策本部

目 次

1 被害状況

(1) 特殊詐欺全体	・・・ 1
(2) オレオレ詐欺	・・・ 4
(3) 預貯金詐欺	・・・ 7
(4) 架空料金請求詐欺	・・・ 10
(5) 還付金詐欺	・・・ 12
(6) 融資保証金詐欺	・・・ 16
(7) 金融商品詐欺	・・・ 17
(8) ギャンブル詐欺	・・・ 18
(9) 交際あっせん詐欺	・・・ 19
(10) その他の特殊詐欺	・・・ 20
(11) キャッシュカード詐欺盗	・・・ 21
(12) 全体に占める金品手交等の種別割合	・・・ 24
(13) 犯行予兆電話の通報件数	・・・ 24
(14) 犯行利用電話の種別	・・・ 25

2 検挙状況

(1) 特殊詐欺本犯	・・・ 26
(2) 特殊詐欺助長犯	・・・ 29

3 未然防止等の状況

(1) 未然防止全体	・・・ 30
(2) 金融機関による未然防止	・・・ 31
(3) 被害金調達状況（全体）	・・・ 32
(4) 金融機関における被害金調達	・・・ 33
(5) 金融機関窓口による未然防止率	・・・ 33
(6) 未然防止の好事例	・・・ 34

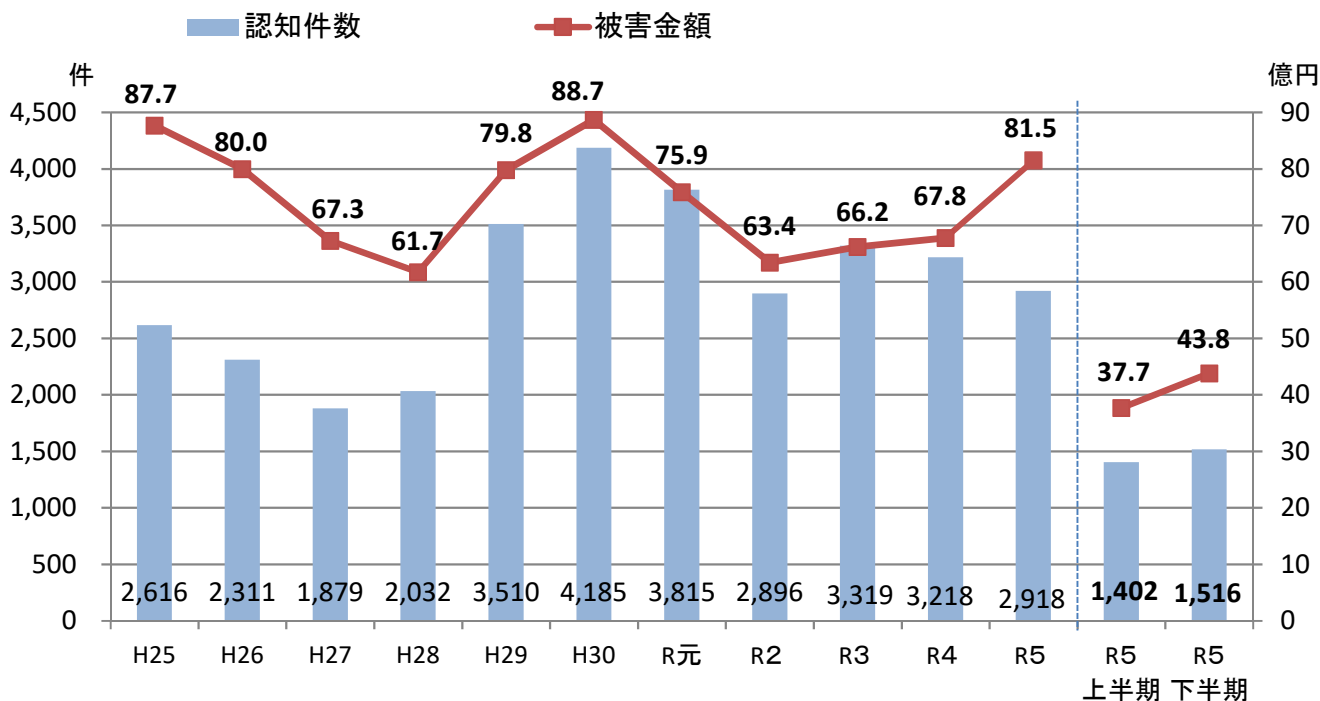
※ 本統計に関する割合の数値は、四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならないことがあるが、便宜上、合計は100%と記す（約は省略）

※ 特殊詐欺とは、被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪（現金等を脅し取る恐喝を含む）の総称
なお、特殊詐欺は、オレオレ詐欺、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、還付金詐欺、融資保証金詐欺、金融商品詐欺、ギャンブル詐欺、交際あっせん詐欺、その他の特殊詐欺及びキャッシュカード詐欺盗の10類型に分類する

1 被害状況

(1) 特殊詐欺全体

ア 認知状況の年別推移 (H25～R5)



※ H24年からR元年まで「振り込め類似詐欺」を計上、H30年から「キャッシュカード詐欺盗」を計上
 ※ R5被害金額81億4,857万7,931円（上半期37億7,072万3,069円 下半期43億7,785万4,862円）

イ 令和5年における認知状況

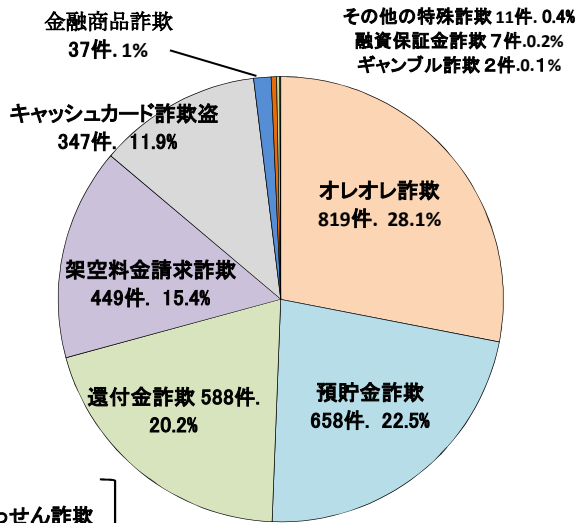
		オレオレ		預貯金		架空料金請求		還付金		融資保証金		金融商品		ギャンブル		交際あつせん		その他		キャッシュカード詐欺盗		合計	
		既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂
認知件数	R5年	819	(744)	658	(643)	449	(447)	588	(586)	7	(7)	37	(37)	2	(2)	0	(0)	11	(11)	347	(342)	2,918	(2,819)
	R4年	883	(772)	618	(585)	126	(125)	844	(844)	5	(5)	3	(3)	8	(8)	1	(1)	0	(0)	730	(723)	3,218	(3,066)
	前年比	-64	(-28)	+40	(+58)	+323	(+322)	-256	(-258)	+2	(+2)	+34	(+34)	-6	(-6)	-1	(-1)	+11	(+11)	-383	(-381)	-300	(-247)
	増減率	-7.2%	(-3.6%)	+6.5%	(+9.9%)	+256.3%	(+257.6%)	-30.3%	(-30.6%)	+40.0%	(+40.0%)	+1133.3%	(+1133.3%)	-75.0%	(-75.0%)	-100.0%	(-100.0%)	-	-	-52.5%	(-52.7%)	-9.3%	(-8.1%)
被害金額	R5年	3,304,143,210		630,493,000		2,045,377,294		948,978,754		7,552,539		639,946,968		12,322,693		0		157,252,473		402,511,000		8,148,577,931	
	R4年	2,669,384,969		649,757,970		1,023,396,362		1,161,158,511		3,831,293		62,550,000		110,697,532		450,000		0		1,097,215,006		6,778,441,643	
	前年比	+634,758,241		-19,264,970		+1,021,980,932		-212,179,757		+3,721,246		+577,396,968		-98,374,839		-450,000		+157,252,473		-694,704,006		+1,370,136,288	
	増減率	+23.8%		-3.0%		+99.9%		-18.3%		+97.1%		+923.1%		-88.9%		-100.0%		-		-63.3%		+20.2%	
R5平均金額(既遂)		4,441,053		980,549		4,575,788		1,619,418		1,078,934		17,295,864		6,161,347		0		14,295,679		1,176,933		2,890,592	

※ 被害金額は、カード手交後の引出金額を含む（以下同じ）

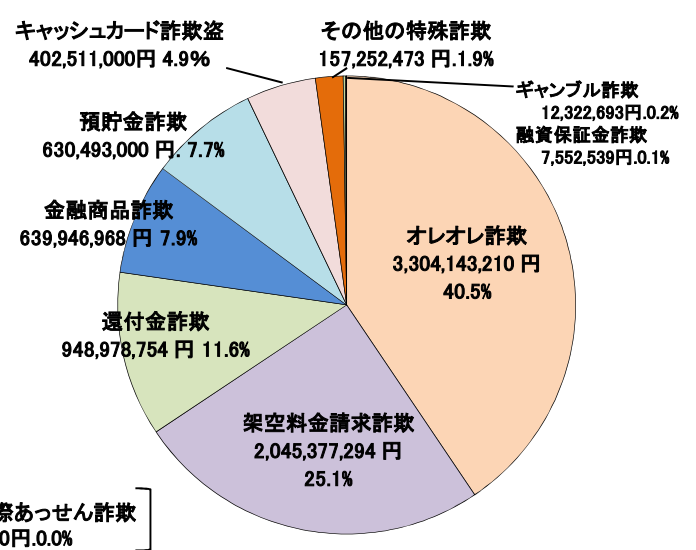
- 認知件数2,918件、被害金額約81.5億円で、前年と比べ認知件数が-300件(-9.3%)減少し、被害金額が約13.7億円(+20.2%)増加した。
- 手口別では前年と比べ、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、融資保証金詐欺及び金融商品詐欺は増加し、オレオレ詐欺、還付金詐欺、ギャンブル詐欺、交際あつせん詐欺及びキャッシュカード詐欺盗は減少した。
- 架空料金請求詐欺は、本年からサポート詐欺の認知件数を計上している。

ウ 類型別の認知件数及び被害金額

【認知件数 2,918件】

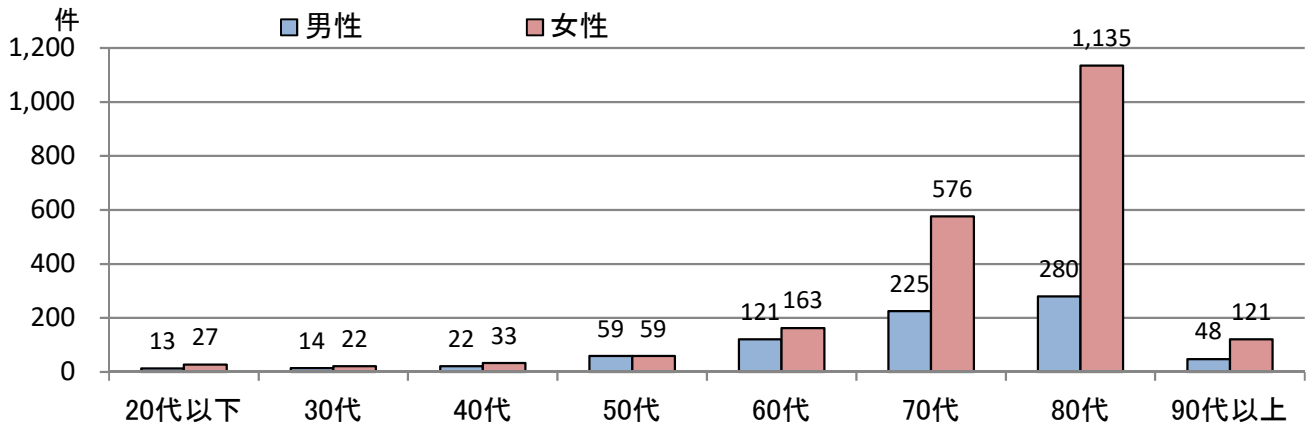


【被害金額 81億4,857万7,931円】



- 認知件数は、オレオレ詐欺が28.1%(819件)を占め、次いで預貯金詐欺が22.5%(658件)、還付金詐欺が20.2%(588件)、架空料金請求詐欺が15.4%(449件)、キャッシュカード詐欺盗が11.9%(347件)などとなっている。
- 被害金額は、オレオレ詐欺が40.5%(約33.0億円)を占め、次いで架空料金請求詐欺が25.1%(約20.5億円)、還付金詐欺盗が11.6%(約9.5億円)などとなっている。

エ 被害者（年代別・男女別）

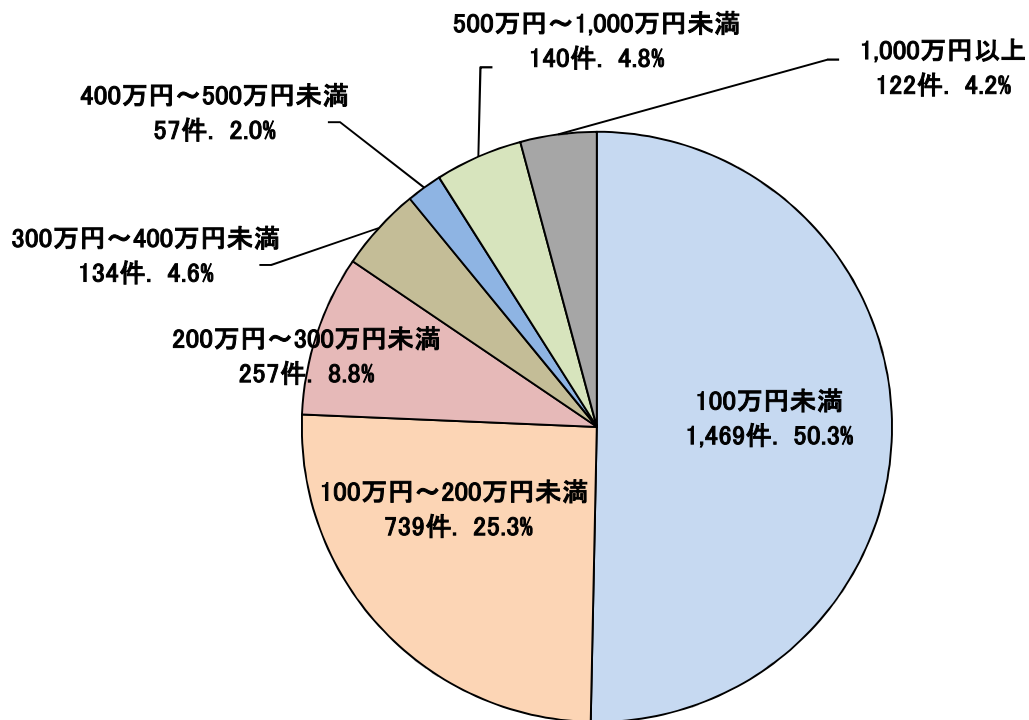


		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R5年	男性	13	14	22	59	121	225	280	
	割合	1.7%	1.8%	2.8%	7.5%	15.5%	28.8%	35.8%	6.1%	100.0%	
	女性	27	22	33	59	163	576	1,135	121	2,136	73.2%
	割合	1.3%	1.0%	1.5%	2.8%	7.6%	27.0%	53.1%	5.7%	100.0%	
	合計	40	36	55	118	284	801	1,415	169	2,918	
	割合	1.4%	1.2%	1.9%	4.0%	9.7%	27.5%	48.5%	5.8%	100.0%	
	前年比	+30	+17	+34	+68	+10	-207	-292	+40	-300	
R4年	男性	7	9	6	13	92	280	302	51	760	23.6%
	割合	0.9%	1.2%	0.8%	1.7%	12.1%	36.8%	39.7%	6.7%	100.0%	
	女性	3	10	15	37	182	728	1,405	78	2,458	76.4%
	割合	0.1%	0.4%	0.6%	1.5%	7.4%	29.6%	57.2%	3.2%	100.0%	
	合計	10	19	21	50	274	1,008	1,707	129	3,218	
	割合	0.3%	0.6%	0.7%	1.6%	8.5%	31.3%	53.0%	4.0%	100.0%	

- 被害者の割合は、70代以上が全体の81.7%(2,385人)を占めており、80代が48.5%(1,415人)と最も多い。また、男女別では、女性が73.2%(2,136人)を占めている。

才 被害金額別（未遂を除く）

【認知件数 2,918件】



カ 被害金等受取方法別

	振込	現金手交	カード手交	送付	電子マネー	コンビニ決済	ATM決済	その他不明	合計
R5年	825	724	1,049	21	293	0	0	6	2,918
割合	28.3%	24.8%	35.9%	0.7%	10.0%	0.0%	0.0%	0.2%	100.0%
R4年	935	792	1,434	12	40	4	0	1	3,218
割合	29.1%	24.6%	44.6%	0.4%	1.2%	0.1%	0.0%	0.0%	100.0%

※ 被害金等受取方法が複数ある場合は、被害金額が多い受取方法を計上

- ・ 電子マネー 有料サイト利用料金名目等で、コンビニエンスストア等で販売されている電子マネーを購入させ、シリアル番号を聞き出す手口
- ・ コンビニ決済 コンビニエンスストアに設置されているマルチメディア端末等を操作させ、決済を代行させて金銭等をだまし取る手口
- ・ ATM決済 Pay-easy（ペイジー）で、コンビニエンスストア以外の金融機関等に設置されているATM（現金自動預払機）等を利用させ、金銭等をだまし取る手口

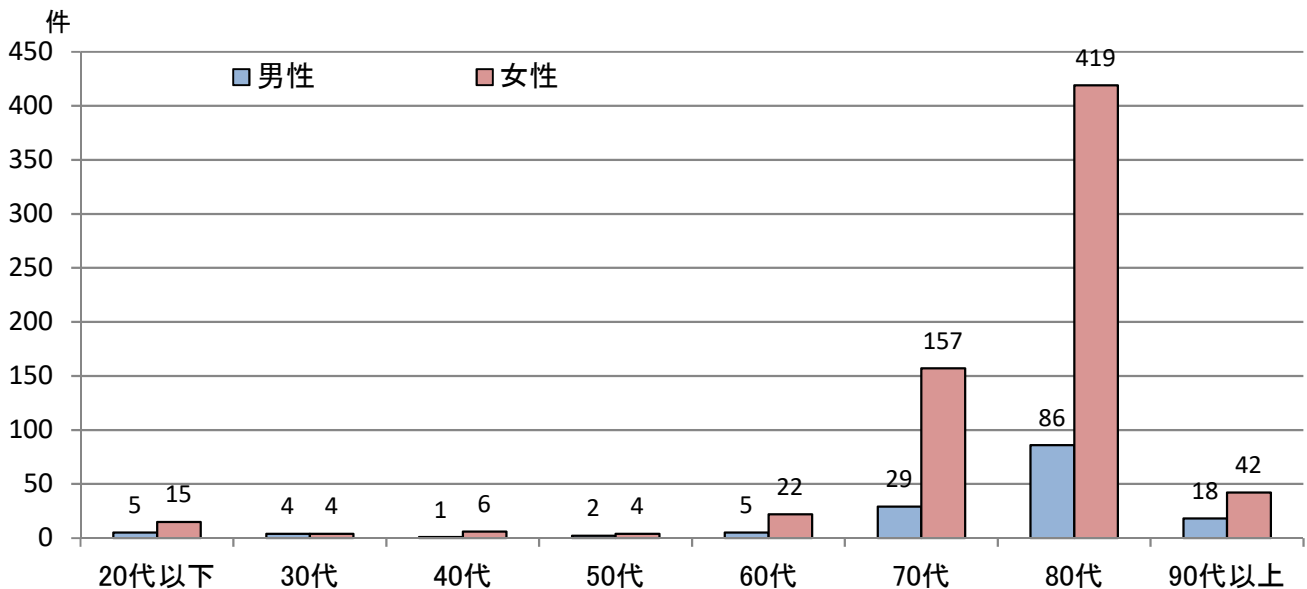
- 受取方法の割合では、カード手交が最も高く全体の35.9%を占め、次いで、振込が28.3%を占めている。
- 手交型（現金手交及びカード手交）の合計が、全体の60.8%（1,773件）を占める。

(2) オレオレ詐欺

ア 騙しの名目別

	R5年				R4年			
	認知件数	既遂	未遂	被害金額	認知件数	既遂	未遂	被害金額
傷害事件等示談金	0	0	0	0	3	2	1	3,621,000
横領事件等示談金	20	20	0	68,750,000	13	10	3	78,690,000
痴漢事件等示談金	2	2	0	4,000,000	22	12	10	44,000,000
妊娠中絶費用等	6	6	0	10,000,000	14	11	3	81,655,000
借金等の返済	4	4	0	20,180,000	0	0	0	0
損失補填金等	552	490	62	1,557,889,000	666	587	79	1,835,935,700
その他	235	222	13	1,643,324,210	165	150	15	625,483,269
合計	819	744	75	3,304,143,210	883	772	111	2,669,384,969
前年比	-64	-28	-36	+634,758,241				

イ 被害者（年代別・男女別）



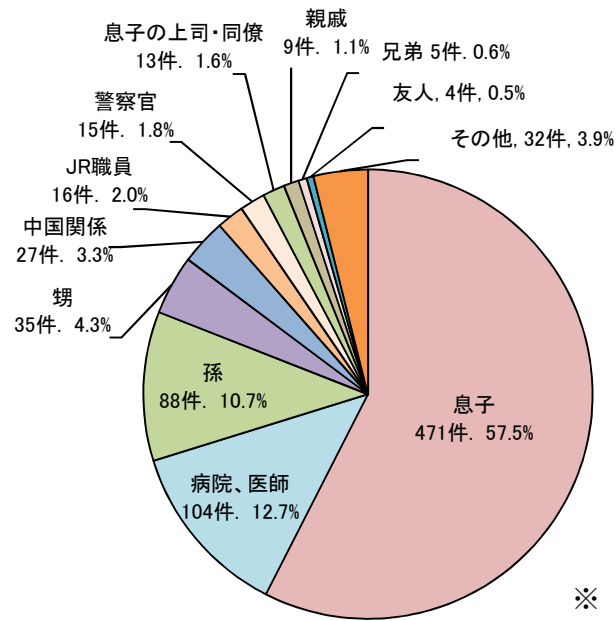
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R5年	男性	5	4	1	2	5	29	86	18
割合	3.3%		2.7%	0.7%	1.3%	3.3%	19.3%	57.3%	12.0%	100.0%	
女性	15		4	6	4	22	157	419	42	669	81.7%
割合	2.2%		0.6%	0.9%	0.6%	3.3%	23.5%	62.6%	6.3%	100.0%	
合計	20		8	7	6	27	186	505	60	819	
	割合	2.4%	1.0%	0.9%	0.7%	3.3%	22.7%	61.7%	7.3%	100.0%	
	前年比	+17	+6	+2	+1	+2	-58	-38	+4	-64	
	増減率	+566.7%	+300.0%	+40.0%	+20.0%	+8.0%	-23.8%	-7.0%	+7.1%	-7.2%	
R4年	男性	1	0	2	0	5	49	113	22	192	21.7%
	割合	0.5%	0.0%	1.0%	0.0%	2.6%	25.5%	58.9%	11.5%	100.0%	
	女性	2	2	3	5	20	195	430	34	691	78.3%
	割合	0.3%	0.3%	0.4%	0.7%	2.9%	28.2%	62.2%	4.9%	100.0%	
	合計	3	2	5	5	25	244	543	56	883	
	割合	0.3%	0.2%	0.6%	0.6%	2.8%	27.6%	61.5%	6.3%	100.0%	

○ 被害者の割合は、年代別では、70代以上が全体の91.7%(751人)を占めており、男女別では、女性が81.7%(669人)を占めている。

いずれも、特殊詐欺全体(70代以上81.7%、女性73.2%)と比べ、高い割合になっている。

ウ 欺罔者(登場人物)別

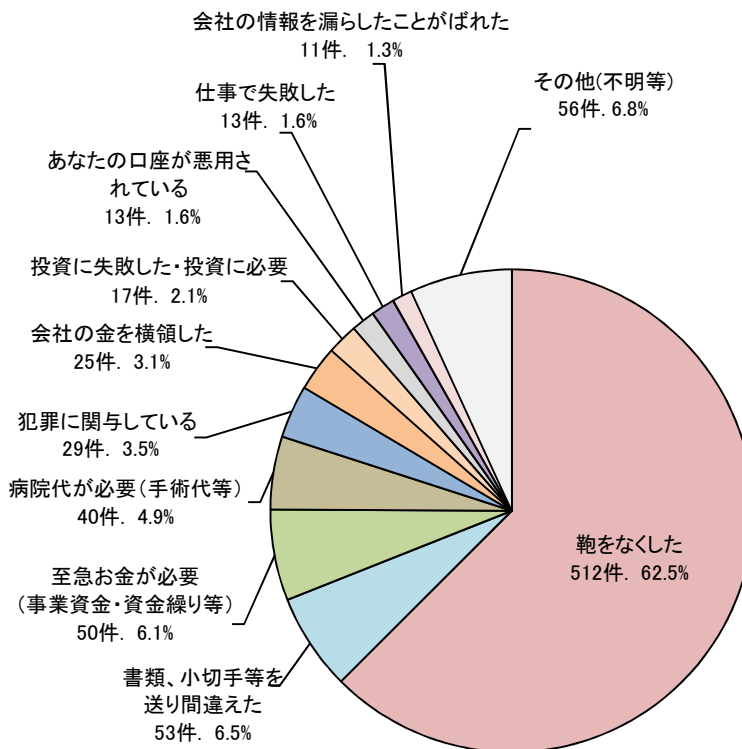
【オレオレ詐欺の認知件数 819件】



○ 息子や孫等の「親族」騙りが全体の74.2%(608件)を占め、そのうち「息子」騙りが57.5%(471件)と最も多い。次いで「病院、医師」騙りが12.7%(104件)となっている。

エ 欺罔文言(だまし文句)別

【オレオレ詐欺の認知件数 819件】

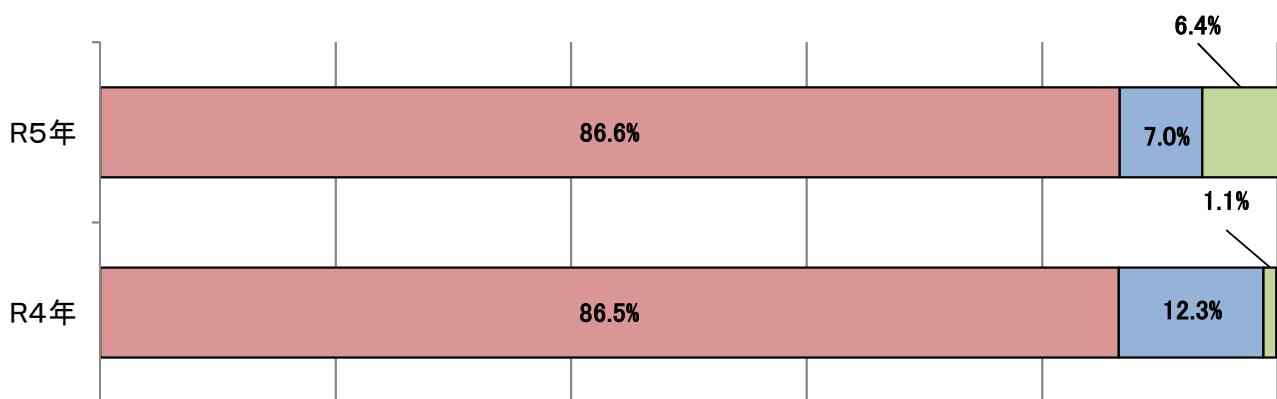


オ 被害金等受取方法別

	現金			キャッシュカード		その他 不明	合計
	手交	振込	送付	手交	送付		
R5年	709	50	2	57	0	1	819
割合	86.6%	6.1%	0.2%	7.0%	0.0%	0.1%	100.0%
前年比	-55	+40	+2	-52	±0	+1	-64
増減率	-7.2%	+400.0%	-	-47.7%	-	-	-7.2%
R4年	764	10	0	109	0	0	883
割合	86.5%	1.1%	0.0%	12.3%	0.0%	0.0%	100.0%

※ 被害金等受取方法が複数ある場合は、被害金額が多い受取方法を計上

■ 現金手交 ■ キャッシュカード手交 ■ その他(振込及び送付含む。)



【オレオレ詐欺の主な手口】

- 鞆を無くした(損失補填金等)
親族等を装い、「病院、駅、喫茶店のトイレ等に会社で必要な大事な物(小切手等)が入った鞆を置き忘れて(盗まれて)困っている。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口
- 会社の大事な書類等の送り先を間違えた(損失補填金等)
親族等を装い、「会社で使う大事な書類又は荷物、郵便物などの送り先を間違えてしまい、お金が必要になった。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口
- 会社の金を使い込んだ
親族等を装い、「会社のお金を使って株又は投資に失敗してしまった。今日、監査が入る。穴埋めのお金を貸してくれないか。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口
- 『偽札』にすり替えられている
警察官等を装い、「犯人を逮捕しました。あなたの家に侵入して、お金を偽札にすり替えたようです。お金を確認するため、警察官を自宅に向かわせます。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口

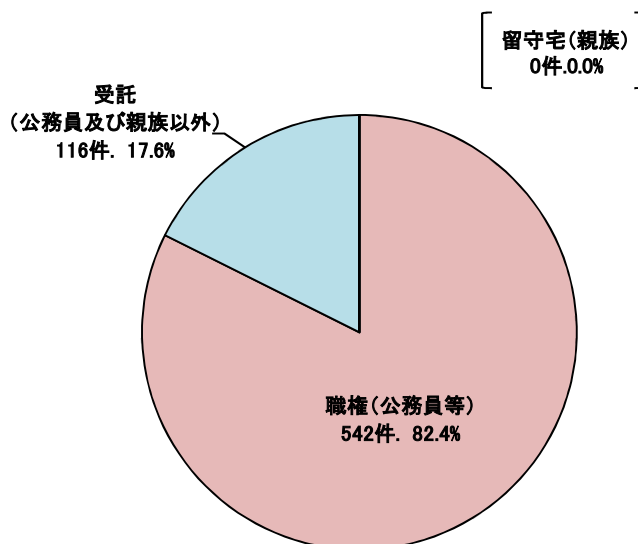
(3) 預貯金詐欺

ア 手口別認知件数

	認知件数	R5年			認知件数	R4年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
職権(公務員等)	542	531	11	540,211,000	503	474	29	523,767,970
留守宅(親族)	0	0	0	0	0	0	0	0
受託(公務員及び親族以外)	116	112	4	90,282,000	115	111	4	125,990,000
合計	658	643	15	630,493,000	618	585	33	649,757,970
前年比	+40	+58	-18	-19,264,970				

イ 手口別割合

【預貯金詐欺の認知件数 658件】



【預貯金詐欺とは】

○ 職権(公務員等)

警察官、金融庁、市役所等の公務員又は公益事業者(水道局、電気会社、ガス会社等)等の職員を騙り、カード交換などの名目でキャッシュカード等をだまし取る手口

○ 受託(公務員及び親族以外)

百貨店店員、家電量販店店員、銀行協会等を騙り、公務員、親族以外の者に成りすまして、カード交換などの名目でキャッシュカードをだまし取る手口

【主な手口】

○ 還付金がある

区・市役所の職員等を騙り、「市役所の者です。年金の還付金があります。銀行振込できますが、あなたのキャッシュカードは古いので、交換する必要があります。」等とうそを言い、キャッシュカードをだまし取る手口

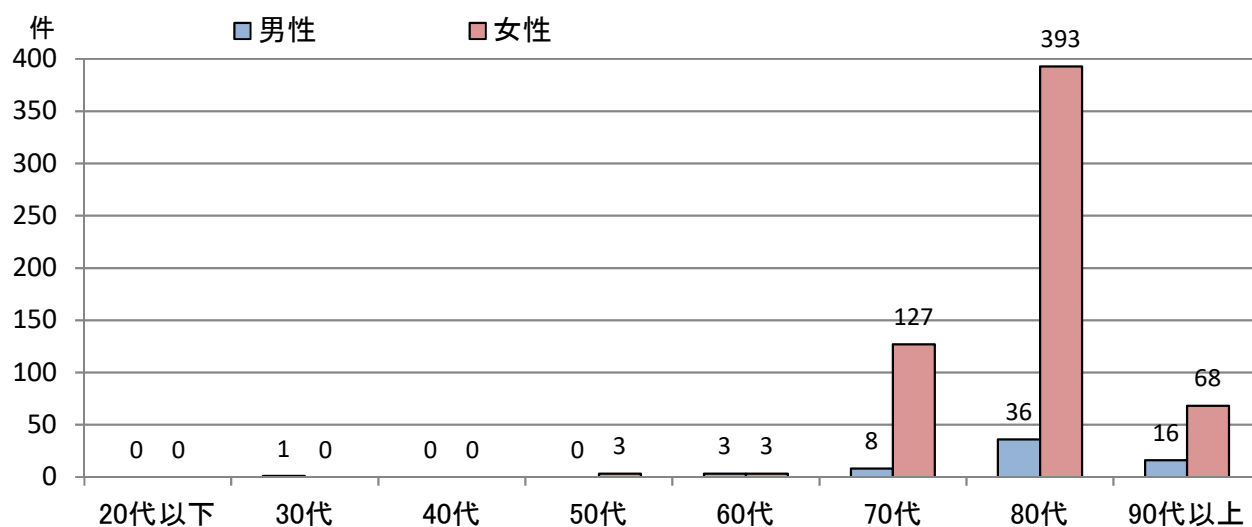
○ あなたのカードが犯罪に使われている

警察官等を騙り、「犯人を逮捕しました。あなたの口座からお金が引き出されています。カードはお持ちですか。偽造されている可能性があるため、カードと暗証番号を変更する必要があります。」等とうそを言い、キャッシュカードをだまし取る手口

○ キャッシュカードに切れ込みやパンチで穴を開け安心させる

警察官等を騙り「キャッシュカードが不正に使用され、あなたの口座からお金が引き出されています。」等とうそを言い、キャッシュカードに切れ込みを入れ(パンチで穴を開け)、もう使えなくなったと安心させて、キャッシュカードをだまし取る手口

ウ 被害者（年代別・男女別）



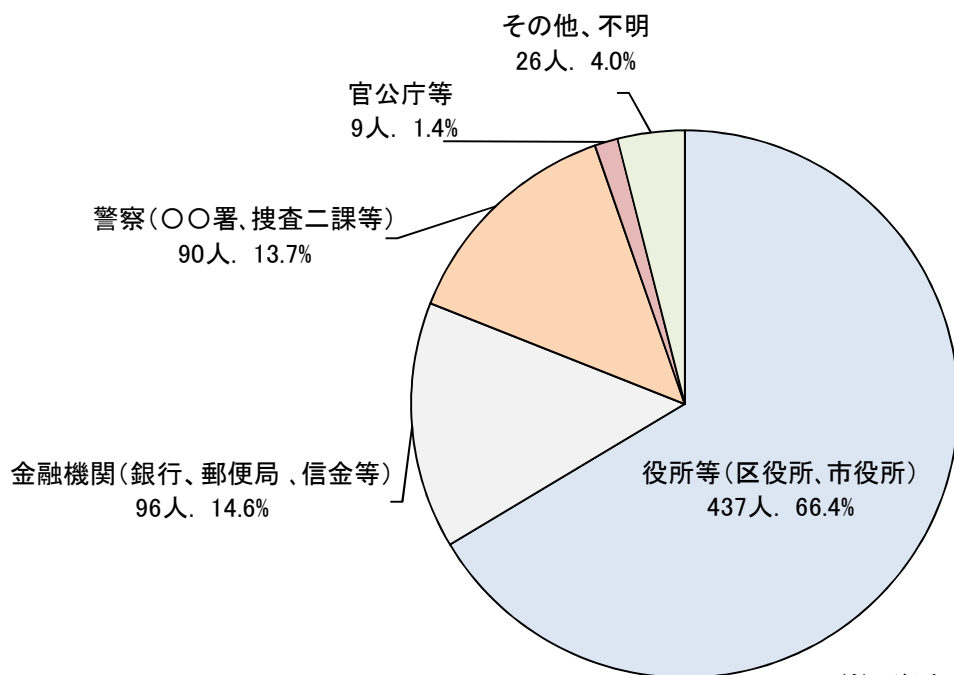
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R5年	男性	0	1	0	0	3	8	36	16
割合	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	4.7%	12.5%	56.3%	25.0%	100.0%		
	女性	0	0	0	3	3	127	393	68	594	90.3%
割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.5%	21.4%	66.2%	11.4%	100.0%		
	合計	0	1	0	3	6	135	429	84	658	
	割合	0.0%	0.2%	0.0%	0.5%	0.9%	20.5%	65.2%	12.8%	100.0%	
	前年比	±0	+1	±0	±0	+2	-9	-16	+62	+40	
	増減率	-	-	-	±0.0%	+50.0%	-6.3%	-3.6%	+281.8%	+6.5%	
R4年	男性	0	0	0	0	1	8	56	7	72	11.7%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	11.1%	77.8%	9.7%	100.0%	
	女性	0	0	0	3	3	136	389	15	546	88.3%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.5%	24.9%	71.2%	2.7%	100.0%	
	合計	0	0	0	3	4	144	445	22	618	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.6%	23.3%	72.0%	3.6%	100.0%	

○ 被害者の割合は、70代以上が全体の98.5%(648人)を占めており、男女別では、女性が90.3%(594人)を占めている。

いずれも、特殊詐欺全体の割合(70代以上81.7%、女性73.2%)と比べ高くなっている。

エ 欺罔者(登場人物)別

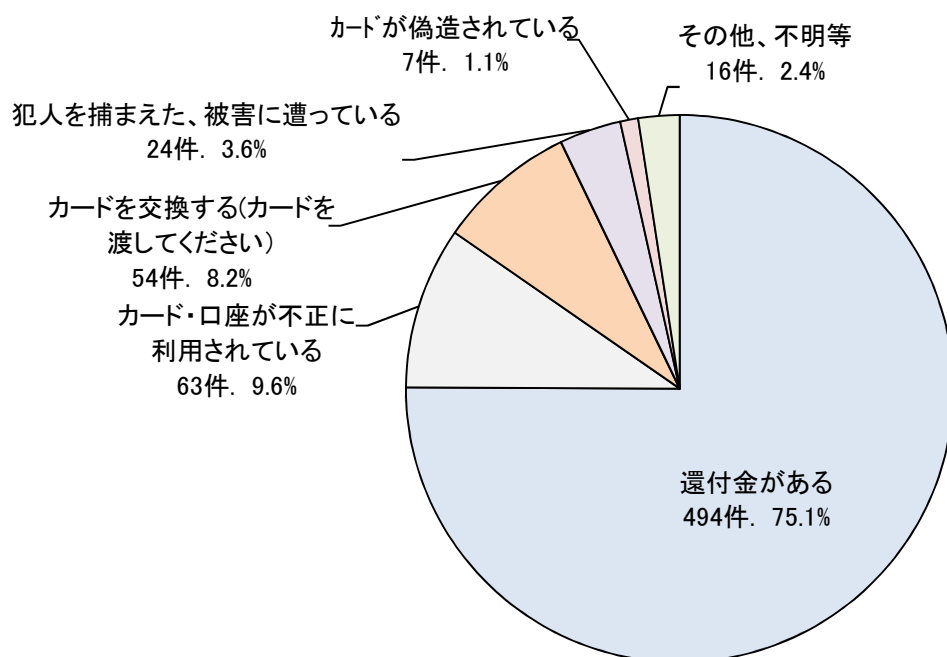
【認知件数 658件】



※ 犯人が最初に騙った人物を計上

オ 欺罔文言(だまし文句)別

【認知件数 658件】

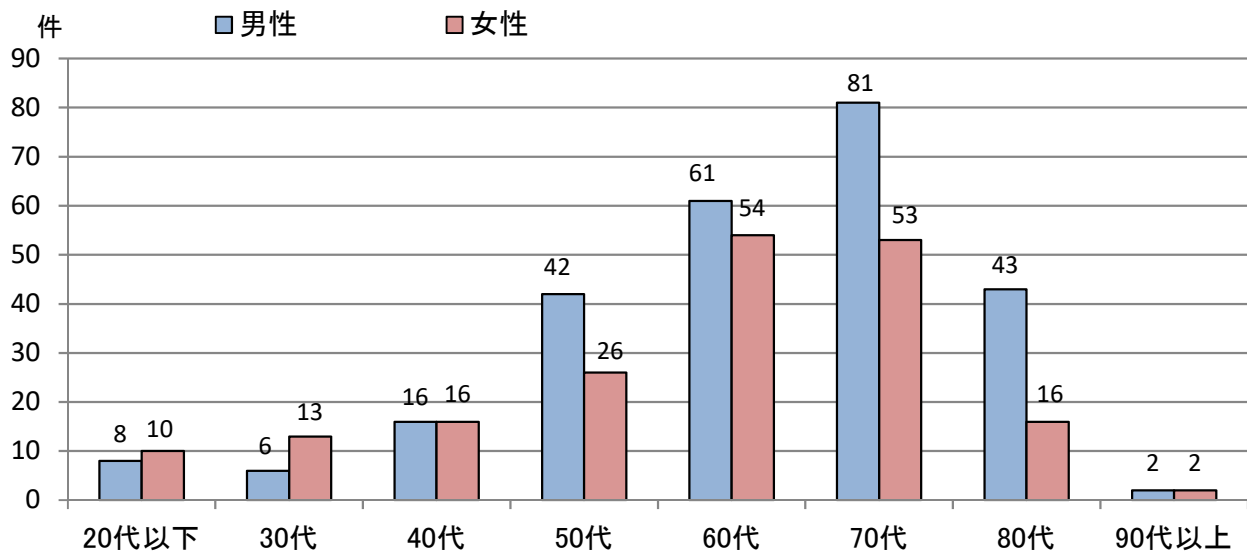


(4) 架空料金請求詐欺

ア 騙しの名目別

	R5年				R4年			
	認知件数	既遂	未遂	被害金額	認知件数	既遂	未遂	被害金額
有料サイト利用料金等	135	135	0	959,206,857	94	93	1	554,184,890
名義貸しトラブル等	7	5	2	135,100,000	0	0	0	0
情報買取抹消料金等	0	0	0	0	1	1	0	19,800,000
訴訟関係費用等	2	2	0	20,066,903	1	1	0	750,000
その他	305	305	0	931,003,534	30	30	0	448,661,472
(サポート詐欺)	(233)	(233)	(0)	(165,562,270)	-	-	-	-
合計	449	447	2	2,045,377,294	126	125	1	1,023,396,362
前年比	+323	+322	+1	+1,021,980,932				

イ 被害者（年代別・男女別）



		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R5年	男性	8	6	16	42	61	81	43	2
割合	3.1%		2.3%	6.2%	16.2%	23.6%	31.3%	16.6%	0.8%	100.0%	
女性	10		13	16	26	54	53	16	2	190	42.3%
割合	5.3%		6.8%	8.4%	13.7%	28.4%	27.9%	8.4%	1.1%	100.0%	
合計	18		19	32	68	115	134	59	4	449	
	割合	4.0%	4.2%	7.1%	15.1%	25.6%	29.8%	13.1%	0.9%	100.0%	
	前年比	+12	+9	+23	+56	+87	+90	+42	+4	+323	
	増減率	+200.0%	+90.0%	+255.6%	+466.7%	+310.7%	+204.5%	+247.1%	-	+256.3%	
R4年	男性	5	5	2	5	12	23	6	0	58	46.0%
	割合	8.6%	8.6%	3.4%	8.6%	20.7%	39.7%	10.3%	0.0%	100.0%	
	女性	1	5	7	7	16	21	11	0	68	54.0%
	割合	1.5%	7.4%	10.3%	10.3%	23.5%	30.9%	16.2%	0.0%	100.0%	
	合計	6	10	9	12	28	44	17	0	126	
	割合	4.8%	7.9%	7.1%	9.5%	22.2%	34.9%	13.5%	0.0%	100.0%	

○ 各年代で男女を問わず発生している。

ウ 被害金等受取方法別

	現金				キャッシュカード		コンビニ決済	ATM決済 (ペイジー)	その他 不明	合計
	電子マネー	手交	振込	送付	手交	送付				
R5年	292	2	134	19	0	0	0	0	2	449
割合	65.0%	0.4%	29.8%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	100.0%
前年比	+253	-2	+68	+7	±0	±0	-4	±0	+1	+323
増減率	+648.7%	-50.0%	+103.0%	+58.3%	-	-	-100.0%	-	+100.0%	+256.3%
R4年	39	4	66	12	0	0	4	0	1	126
割合	31.0%	3.2%	52.4%	9.5%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.8%	100.0%

※ 被害金等受取方法が複数ある場合は、被害金額が多い受取方法を計上

- 受取方法の割合では、電子マネーが最も高く、全体の65.0%(292件)を占め、次いで振込が29.8%(134件)となっている。

【架空料金請求詐欺の主な手口】

○ サポート詐欺

パソコンやタブレット端末で動画やWEBサイトなどを閲覧しているときに、「ウイルスに感染しました。この電話番号におかけ下さい。」などの警告画面が表示され、指定された電話番号に連絡すると、相手側が遠隔操作プログラムのインストールを指示し、遠隔操作によるウイルス除去等のサポートを装い、その費用名目に現金振込や電子マネーカードの購入などを要求し、金銭等をだまし取る手口

○ 有料サイト利用料金等名目

パソコン、携帯電話等に「有料サイトの利用料金等が未納である」という内容のメールを送信し、指定された電話番号に電話すると、「利用料金や延滞料金等を支払わないと訴訟になる。」等とうそを言い、金銭等をだまし取る手口

○ 『NTTファイナンス』騙り

「NTTファイナンスお客様サポートセンター」や「NTT」を騙り、携帯電話等に「料金の未払い金がある」という内容のメール(SMS等)を送信し、指定された電話番号に電話すると、「有料サイトの未納料金がある」などと言われ、未払い料金名目で金銭を要求される。

これに応じて金銭の支払いをすると、その後、個人データ保護協会、セキュリティ協会などを騙る者から「あなたの携帯電話がウイルスに感染して損害を与えた」などと言われ、架空のトラブルに巻き込み、損害賠償、慰謝料等の様々な名目で金銭を要求され、最終的には、「資産に犯罪収益がないか金融庁が確認する」、「資産を安全な場所に移動する」などと言われて、全資産を振り込むように要求される手口。

信じて支払いを続けると長期間に渡るため、高額被害になりやすい。

(5) 還付金詐欺

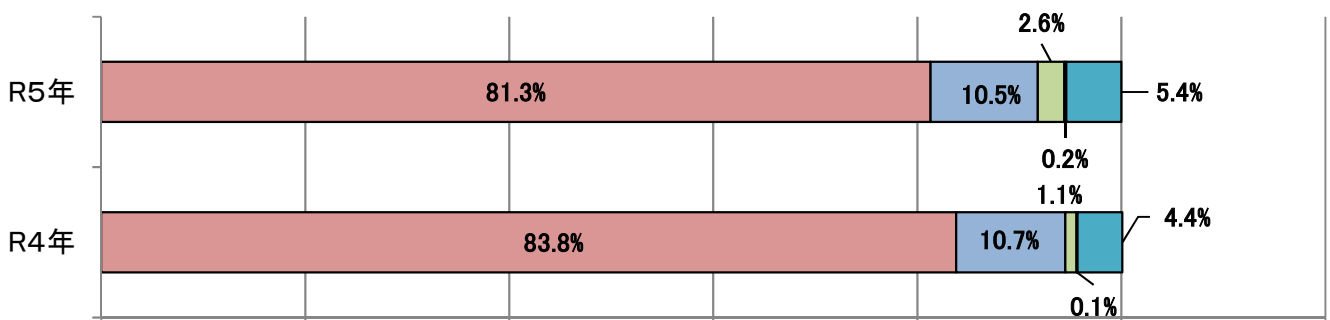
ア 騙しの名目別 (認知件数)

	認知件数	R5年			認知件数	R4年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
医療費	476	475	1	791,380,349	707	707	0	1,010,302,402
健康保険・社会保険等	62	62	0	87,883,210	90	90	0	95,157,521
年金	15	14	1	14,146,878	9	9	0	8,449,977
税金	1	1	0	565,937	1	1	0	1,937,932
その他	34	34	0	55,002,380	37	37	0	45,310,679
合計	588	586	2	948,978,754	844	844	0	1,161,158,511
前年比	-256	-258	+2	-212,179,757				

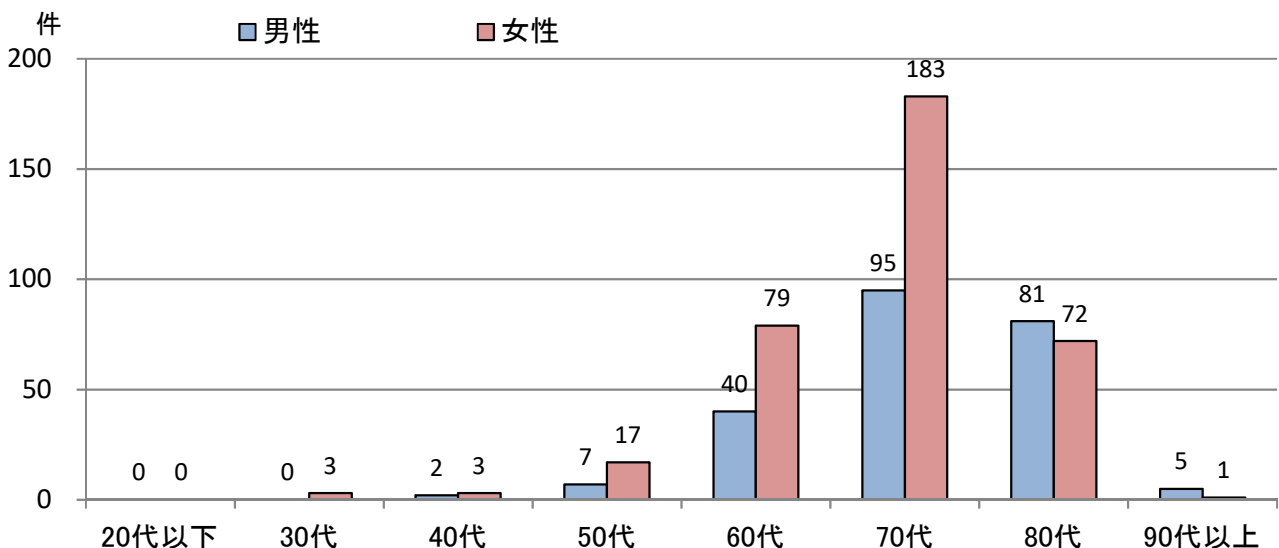
イ 騙しの名目別 (割合)

	医療費	保険料	年金	税金	その他	合計
R5年	478	62	15	1	32	588
割合	81.3%	10.5%	2.6%	0.2%	5.4%	100.0%
R4年	707	90	9	1	37	844
割合	83.8%	10.7%	1.1%	0.1%	4.4%	100.0%

■医療費 ■保険料 ■年金 ■税金 ■その他



ウ 被害者 (年代別・男女別)



		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R5年	男性	0	0	2	7	40	95	81	5	230	39.1%
	割合	0.0%	0.0%	0.9%	3.0%	17.4%	41.3%	35.2%	2.2%	100.0%	
	女性	0	3	3	17	79	183	72	1	358	60.9%
	割合	0.0%	0.8%	0.8%	4.7%	22.1%	51.1%	20.1%	0.3%	100.0%	
	合計	0	3	5	24	119	278	153	6	588	
	割合	0.0%	0.5%	0.9%	4.1%	20.2%	47.3%	26.0%	1.0%	100.0%	
前年比	±0	±0	-1	±0	-85	-176	+5	+1	-256		
増減率	-	±0.0%	-16.7%	±0.0%	-41.7%	-38.8%	+3.4%	+20.0%	-30.3%		
R4年	男性	0	2	1	5	70	183	64	2	327	38.7%
	割合	0.0%	0.6%	0.3%	1.5%	21.4%	56.0%	19.6%	0.6%	100.0%	
	女性	0	1	5	19	134	271	84	3	517	61.3%
	割合	0.0%	0.2%	1.0%	3.7%	25.9%	52.4%	16.2%	0.6%	100.0%	
合計	0	3	6	24	204	454	148	5	844		
割合	0.0%	0.4%	0.7%	2.8%	24.2%	53.8%	17.5%	0.6%	100.0%		

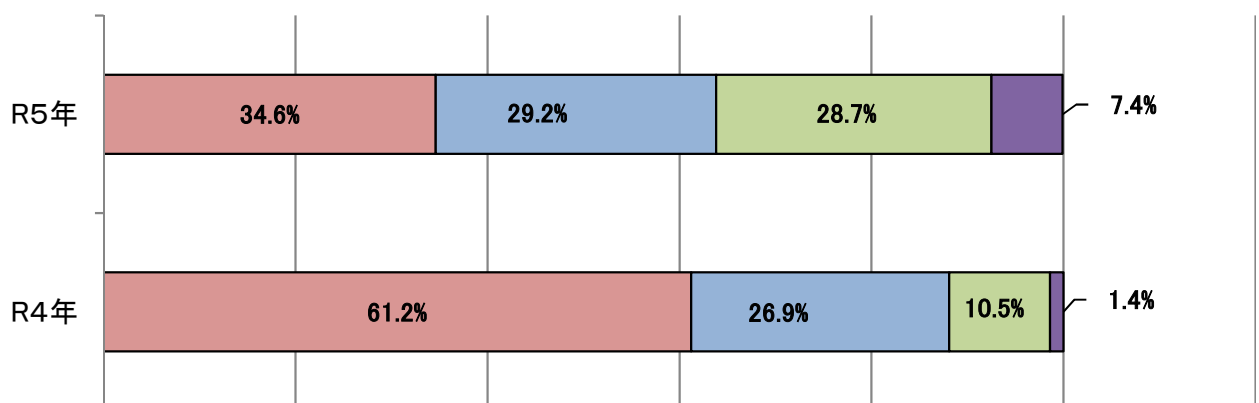
○ 被害者の割合は、70代以上が全体の74.3%(437人)を占めており、男女別では、女性が60.9%(358人)を占めている。

いずれも、特殊詐欺全体(70代以上81.7%、女性73.2%)と比べ、割合は低くなっている。

エ 場所別の振込回数（被害者が誘導され振込んだ場所）

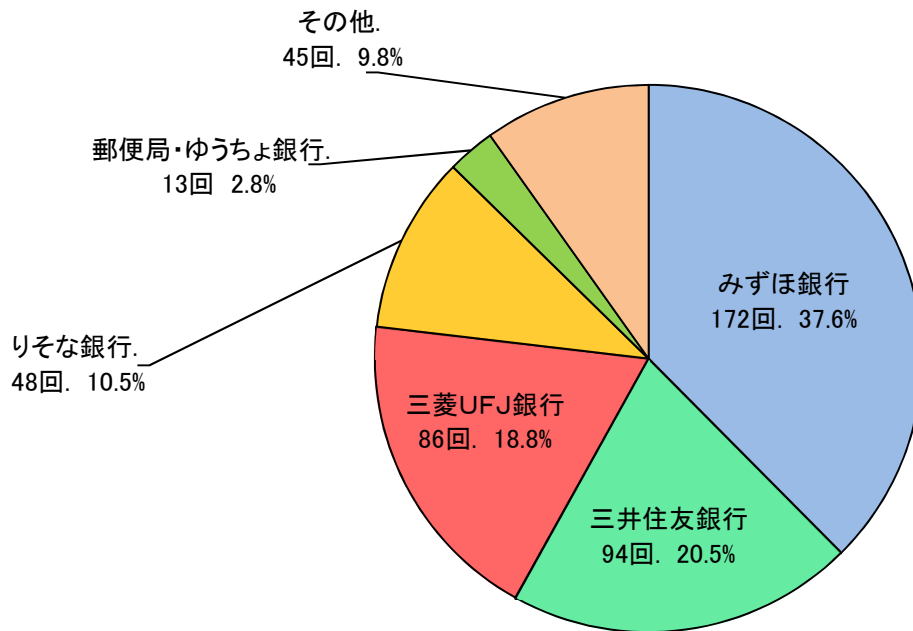
		金融機関 無人ATM	金融機関 店舗内ATM	コンビニ ATM	その他 不明	合計
R5年		458	386	380	98	1322
	割合	34.6%	29.2%	28.7%	7.4%	100.0%
R4年		1081	474	186	24	1,765
	割合	61.2%	26.9%	10.5%	1.4%	100.0%

■金融機関無人ATM ■金融機関店舗内ATM ■コンビニATM ■その他・不明



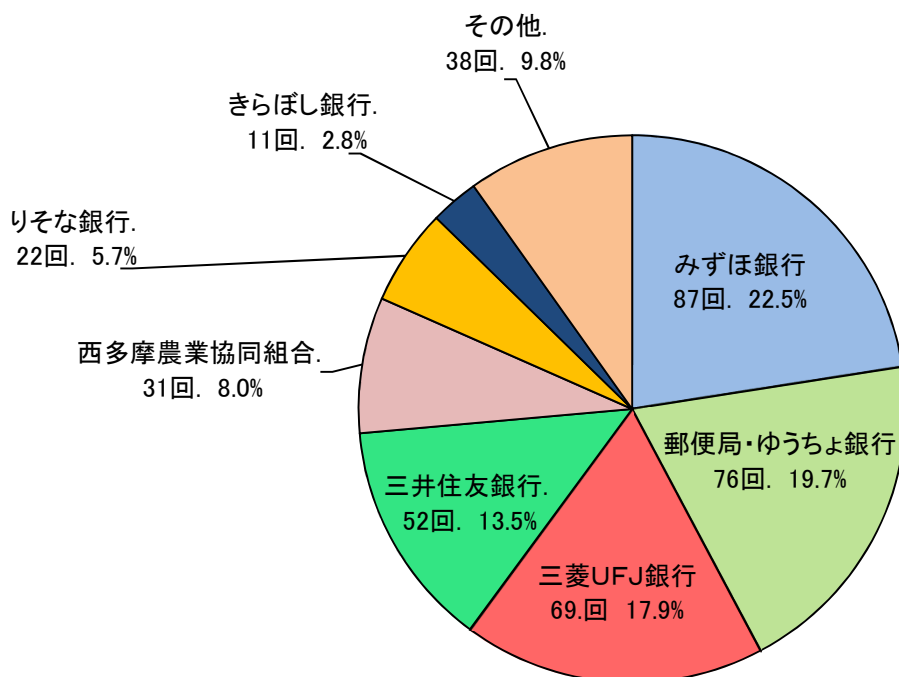
金融機関別【無人ATM】

【振込回数 458回】



金融機関別【店舗内ATM】

【振込回数 386回】



オ 口座別の振込回数等（被害者が開設・利用していた口座）

振込の回数

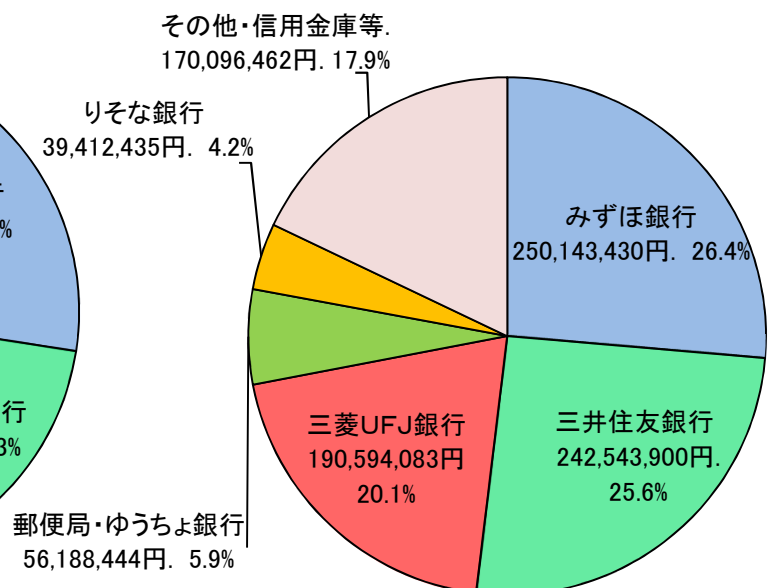
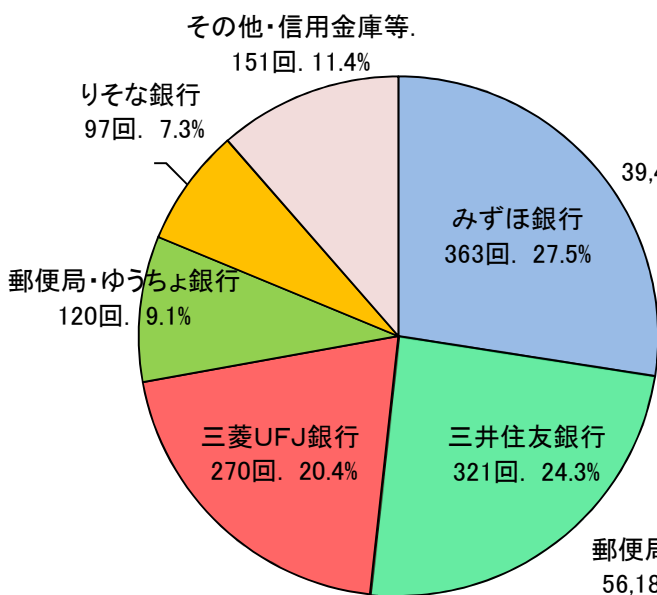
	みずほ銀行	三井住友銀行	三菱UFJ銀行	郵便局・ゆうちょ銀行	りそな銀行	その他金融機関	合計
R5年	363	321	270	120	97	151	1,322
割合	27.5%	24.3%	20.4%	9.1%	7.3%	11.4%	100.0%
R4年	688	418	333	126	92	108	1,765
割合	39.0%	23.7%	18.9%	7.1%	5.2%	6.1%	100.0%

振込被害金額

	みずほ銀行	三井住友銀行	三菱UFJ銀行	郵便局・ゆうちょ銀行	りそな銀行	その他金融機関	合計
R5年	250,143,430	242,543,900	190,594,083	56,188,444	39,412,435	170,096,462	948,978,754
割合	26.4%	25.6%	20.1%	5.9%	4.2%	17.9%	100.0%
R4年	525,129,615	267,545,055	193,246,921	57,771,946	46,025,328	71,439,646	1,161,158,511
割合	45.2%	23.0%	16.6%	5.0%	4.0%	6.2%	100.0%

【振込回数 1,322回】

【振込被害金額 9億4,897万8,754円】



(6) 融資保証金詐欺

ア 認知件数

	認知件数	R5年			認知件数	R4年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
融資保証金	7	7	0	7,552,539	5	5	0	3,831,293
合計	7	7	0	7,552,539	5	5	0	3,831,293
前年比	+2	+2	±0	+3,721,246				

イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R5年	男性	0	1	3	0	2	1	0	0	7	100.0%
	割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	合計	0	1	3	0	2	1	0	0	7	
	割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	前年比	±0	-1	+2	±0	+2	±0	±0	±0	+3	
	増減率	±0.0%	-33.3%	-	±0.0%	-	-	-	-	+300.0%	
R4年	男性	1	2	0	1	0	0	0	0	4	80.0%
	割合	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女性	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	割合	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	合計	1	3	0	1	0	0	0	0	5	
	割合	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

【融資保証金詐欺とは】

融資を申し込んできた者に対し、実際は融資をしないにもかかわらず、保証金等の名目で金銭等をだまし取る(脅し取る)手口

【手口例】

- 被害者宅事務所に、「融資できます。手続きのため、先に手数料や担保金を振り込む必要があるが、後で返金します。」等の内容の融資に関するFAXを送信し、融資を受けたいがために連絡をしてきた被害者から金銭等をだまし取るもの

(7) **金融商品詐欺**

ア 騙しの名目別

	認知件数	R5年			認知件数	R4年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
有価証券等	7	7	0	279,487,755	0	0	0	0
外国通貨	26	26	0	337,721,775	3	3	0	62,550,000
物品	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(上記以外)	4	4	0	22,737,438	0	0	0	0
合計	37	37	0	639,946,968	3	3	0	62,550,000
前年比	+34	+34	±0	+577,396,968				

イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R5年	男性	0	1	0	6	7	3	2	0
割合	0.0%		5.3%	0.0%	31.6%	36.8%	15.8%	10.5%	0.0%	100.0%	
女性	2		2	2	6	3	3	0	0	18	48.6%
割合	11.1%		11.1%	11.1%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%	
合計	2		3	2	12	10	6	2	0	37	
	割合	5.4%	8.1%	5.4%	32.4%	27.0%	16.2%	5.4%	0.0%	100.0%	
	前年比	+2	+2	+2	+10	+10	+6	+2	±0	+34	
	増減率	—	+200.0%	—	+500.0%	—	—	—	—	+1,133.3%	
R4年	男性	0	0	0	1	0	0	0	0	1	33.3%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女性	0	1	0	1	0	0	0	0	2	66.7%
	割合	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	合計	0	1	0	2	0	0	0	0	3	
	割合	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

【金融商品詐欺とは】

手形、小切手、株券及び社債券等の有価証券や、外国通貨及び物品等の購入名目等で金銭等をだまし取る手口

【手口例】

- 未公開株や社債などへの投資や商品購入に関するSMSが突然届き、「指定された口座に入金するだけで、入金額に比例した融資を受けて未公開株の購入ができます」等とうそを言い、金融商品の購入を装って、現金等をだまし取るもの

(8) **ギャンブル詐欺**

ア 騙しの名目別

	R5年				R4年			
	認知件数	既遂	未遂	被害金額	認知件数	既遂	未遂	被害金額
パチンコ必勝法等	0	0	0	0	0	0	0	0
競馬必勝法等	2	2	0	12,322,693	8	8	0	110,697,532
宝くじ当選情報等	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(上記以外)	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	2	0	12,322,693	8	8	0	110,697,532
前年比	-6	-6	±0	-98,374,839				

イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R5年	男性 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	女性 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	50.0%
	合計 割合	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	
	前年比	±0	±0	+1	±0	-4	-3	±0	±0	-6	
	増減率	-	-	-	-	-80.0%	-100.0%	-	-	-75.0%	
R4年	男性 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%	75.0%
	女性 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	25.0%
	合計 割合	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 62.5%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%	

【ギャンブル詐欺とは】

パチンコ、競馬及び競輪等の必勝法情報購入等の名目で金銭等をだまし取る手口

【手口例】

- 被害者の携帯電話に「当社はお客様から出資金を募り、馬券を代理購入する会社です。当社が独自に持っている有力な競馬情報を元に、お客様の代わりに馬券を購入して、馬券が当たればお客様の銀行口座に払戻金を振り込みます。今、キャンペーン中で、会員登録して頂きますと5,000円をプレゼントします。」等のメールを送信し、被害者に会員登録させて払戻金の報酬や手数料名目に犯人の指定した口座に現金を振り込ませ、だまし取るもの

(9) 交際あっせん詐欺

ア 認知件数

	認知件数	R5年			認知件数	R4年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
交際あっせん	0	0	0	0	1	1	0	450,000
合計	0	0	0	0	1	1	0	450,000
前年比	-1	-1	±0	-450,000				

イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R5年	男性	0	0	0	0	0	0	0	0
割合	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
女性	0		0	0	0	0	0	0	0	0	
割合	-		-	-	-	-	-	-	-	0.0%	
合計	0		0	0	0	0	0	0	0	0	
割合	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
R4年	前年比	±0	±0	±0	±0	±0	-1	±0	±0	-1	100.0%
	増減率	-	-	-	-	-	-100.0%	-	-	-100.0%	
	男性	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	
合計	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%		

【交際あっせん詐欺とは】

不特定多数が購入する雑誌や誰でも閲覧できる掲示板等に「異性紹介」などと掲載したり、不特定多数の者に異性を紹介する旨のメールを送信、架電するなどして、これに応じて会員登録を申し込んできた者に対して会員登録料や保証金等の名目で現金等をだまし取る手口

【手口例】

- 被害者の携帯電話に「あなたに合った女性を紹介します。」等を内容とする出会い系サイトのメールを送信し、被害者が興味を持って、メールに記載された電話番号に電話をかけたところ、電話に出た者が、「男性会員は入会金無料です。女性を紹介するので保証金を当社にお支払いください。」等と言い、現金等をだまし取るもの

(10) その他の特殊詐欺

ア 認知件数

	認知件数	R5年			認知件数	R4年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
その他の特殊詐欺	11	11	0	157,252,473	0	0	0	0
合計	11	11	0	157,252,473	0	0	0	0
前年比	+11	+11	±0	+157,252,473				

イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R5年	男性	0	1	0	1	1	0	0	0
割合	0.0%		33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
女性	0		0	5	2	1	0	0	0	8	72.7%
割合	0.0%		0.0%	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
合計	0		1	5	3	2	0	0	0	11	
割合 前年比 増減率	0.0% ±0 -	9.1% +1 -	45.5% +5 -	27.3% +3 -	18.2% +2 -	0.0% ±0 -	0.0% ±0 -	0.0% ±0 -	0.0% ±0 -	100.0% +11 -	
R4年	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

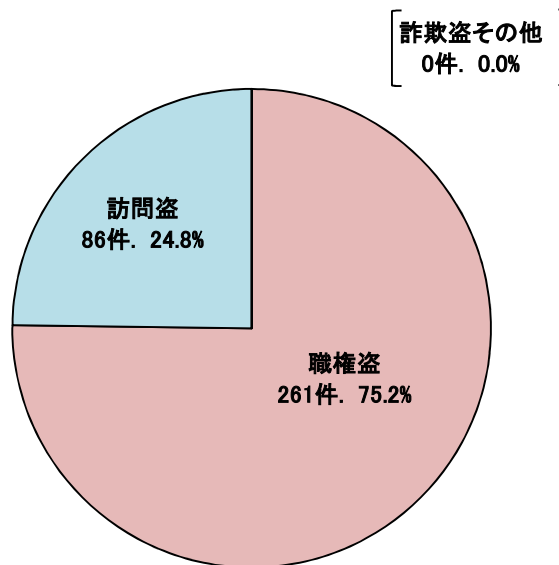
(11) **キャッシュカード詐欺盗**

ア 手口別認知件数

	認知件数	R5年			認知件数	R4年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
職権盗	261	258	3	297,616,000	537	530	7	847,082,006
訪問盗	86	84	2	104,895,000	193	193	0	250,133,000
詐欺盗その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	347	342	5	402,511,000	730	723	7	1,097,215,006
前年比	-383	-381	-2	-694,704,006				

イ 手口別割合

【キャッシュカード詐欺盗の認知件数 347件】



【キャッシュカード詐欺盗とは】

- 職権盗 ～ 警察官、金融庁及び市役所等の公務員又は公益事業者(水道局、電気会社及びガス会社等)などを騙る者が、カードの交換などの名目でキャッシュカード等を窃取するもの
- 訪問盗 ～ 百貨店店員、家電量販店店員及び銀行協会等を騙り、公務員、親族以外の者になりすましてカードの交換等の名目でキャッシュカードを窃取するもの

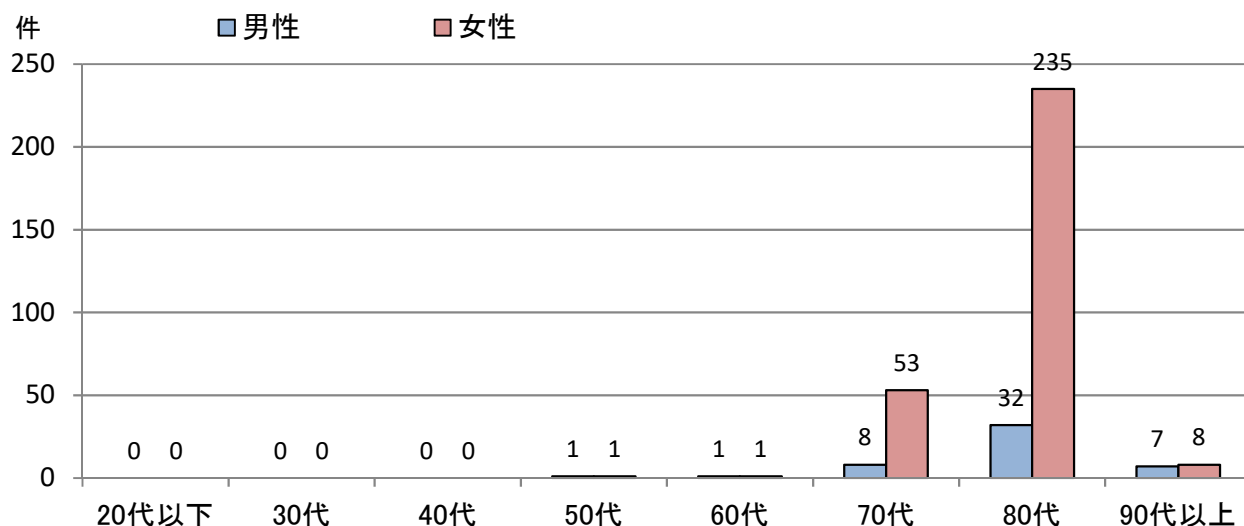
【主な手口】

- キャッシュカード在中の封筒を別の封筒にすり替えて盗み取る
警察官等を騙り、「犯人を逮捕しました。あなたの口座から現金が引き出されています。カードを確認する必要があります。」等とうそを言い、キャッシュカードをすり替えて、盗み取る手口

【手口例】

- 警察官等を騙り、被害者宅を訪れ、自ら準備してきた封筒に被害者名義等のキャッシュカード及び暗証番号記載のメモを入れさせた後、封印するために、「印鑑を持ってきてください。」と被害者に申し向け、被害者が印鑑を取りに行った際に、あらかじめ準備していたポイントカード、トランプ等在中の封筒にすり替えて、戻ってきた被害者にすり替えた封筒に封印させた後、「新しいカードが届くまで、この封筒は開封せずに保管しておいてください。」などと申し向け、すり替えたキャッシュカードを盗み取るもの

ウ 被害者（年代別・男女別）



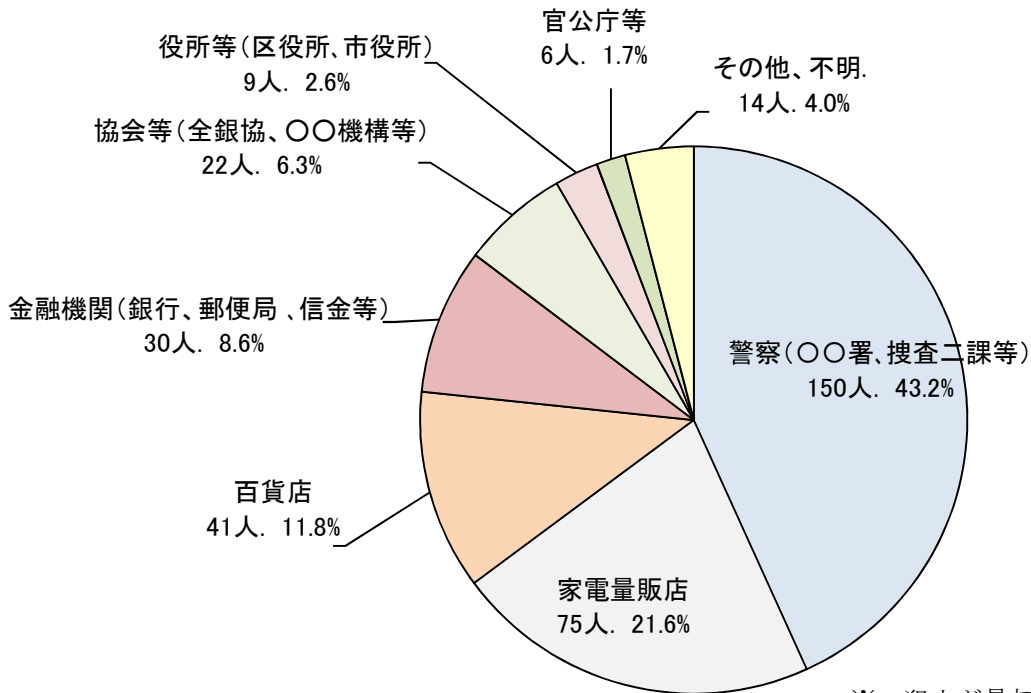
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合	
		R5年	男性	0	0	0	1	1	8	32		7
割合	0.0%		0.0%	0.0%	2.0%	2.0%	16.3%	65.3%	14.3%	100.0%		
女性	0		0	0	1	1	53	235	8	298	85.9%	
割合	0.0%		0.0%	0.0%	0.3%	0.3%	17.8%	78.9%	2.7%	100.0%		
合計	0		0	0	2	2	61	267	15	347		
割合	0.0%		0.0%	0.0%	0.6%	0.6%	17.6%	76.9%	4.3%	100.0%		
前年比	±0	±0	-1	-1	-6	-57	-287	-31	-383			
増減率	-	-	-100.0%	-33.3%	-75.0%	-48.3%	-51.8%	-67.4%	-52.5%			
R4年	男性	0	0	1	1	1	13	63	20	99	13.6%	
	割合	0.0%	0.0%	1.0%	1.0%	1.0%	13.1%	63.6%	20.2%	100.0%		
	女性	0	0	0	2	7	105	491	26	631		86.4%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	1.1%	16.6%	77.8%	4.1%	100.0%		
合計	0	0	1	3	8	118	554	46	730			
割合	0.0%	0.0%	0.1%	0.4%	1.1%	16.2%	75.9%	6.3%	100.0%			

○ 被害者の割合は、70代以上が全体の98.8%(343人)を占めており、男女別では、女性が85.9%(298人)を占めている。

いずれも特殊詐欺全体(70代以上81.7%、女性73.2%)と比べ、高い割合になっている。

エ 欺罔者(登場人物)別

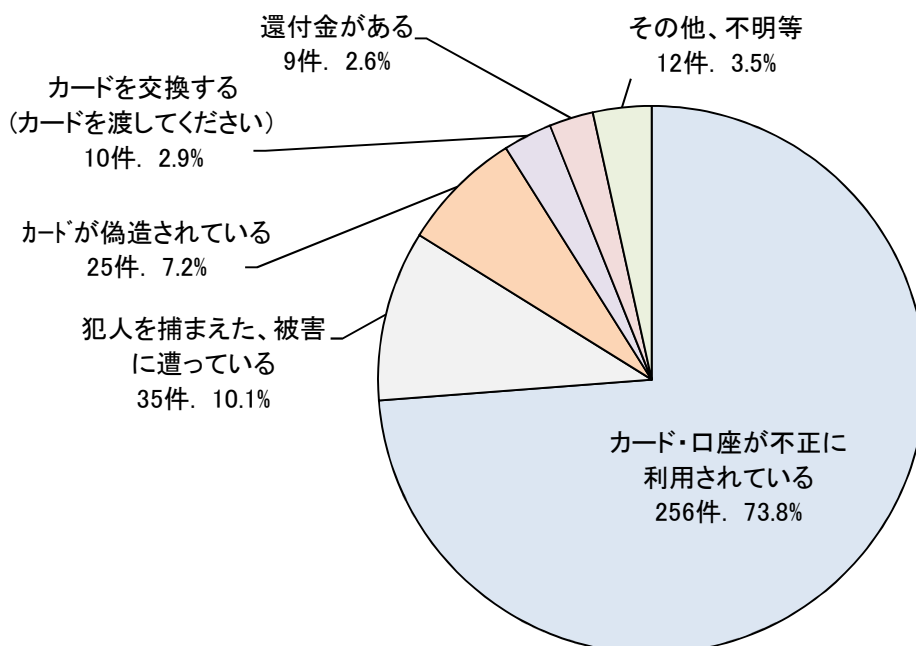
【認知件数 347件】



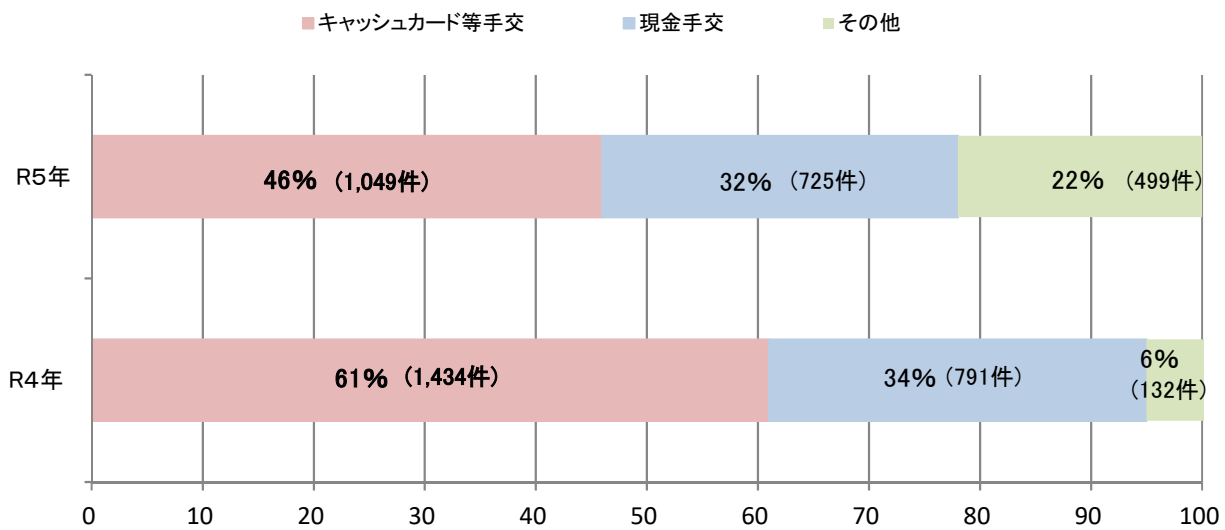
※ 犯人が最初に騙った人物を計上

オ 欺罔文言(だまし文句)別

【認知件数 347件】



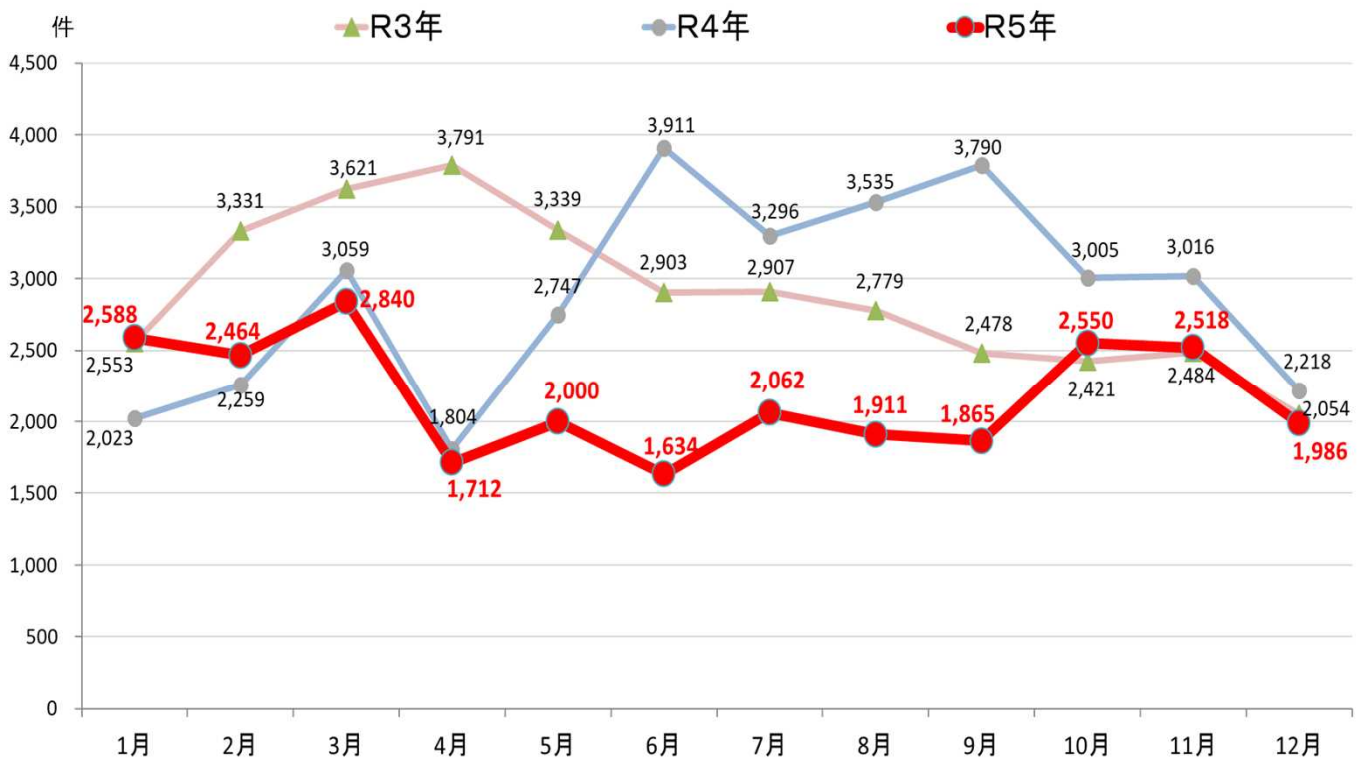
(12) 全体に占める金品手交等の種別割合



※ グラフの数値は、「オレオレ詐欺」、「預貯金詐欺」、「架空料金請求詐欺」及び「キャッシュカード詐欺盗」の合計を示す（R5年全体2,273件、R4年全体2,357件）

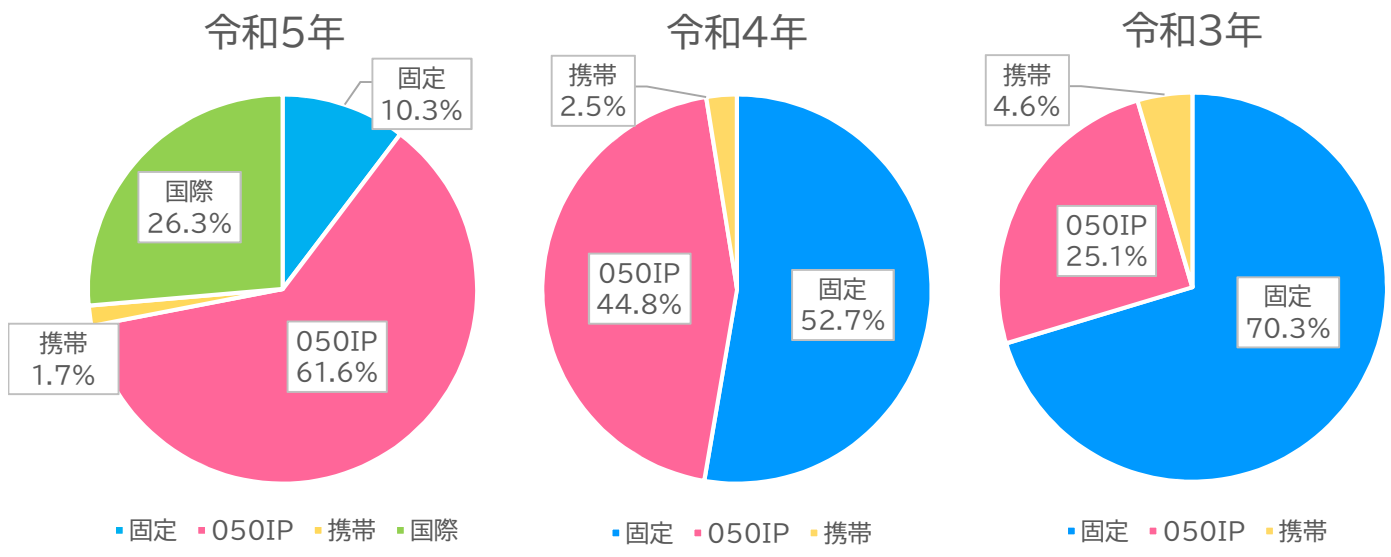
※ 「その他」は、「電子マネー(291件)」、「振込(185件)」、「送付(21件)」及び「暗号資産(2件)」を示す

(13) 犯行予兆電話の通報件数



R5年	2万6,130件	(前年比 -8,533件)
R4年	3万4,663件	(前年比 +2件)
R3年	3万4,661件	(前年比 +3,686件)

(14) 犯行利用電話の種別



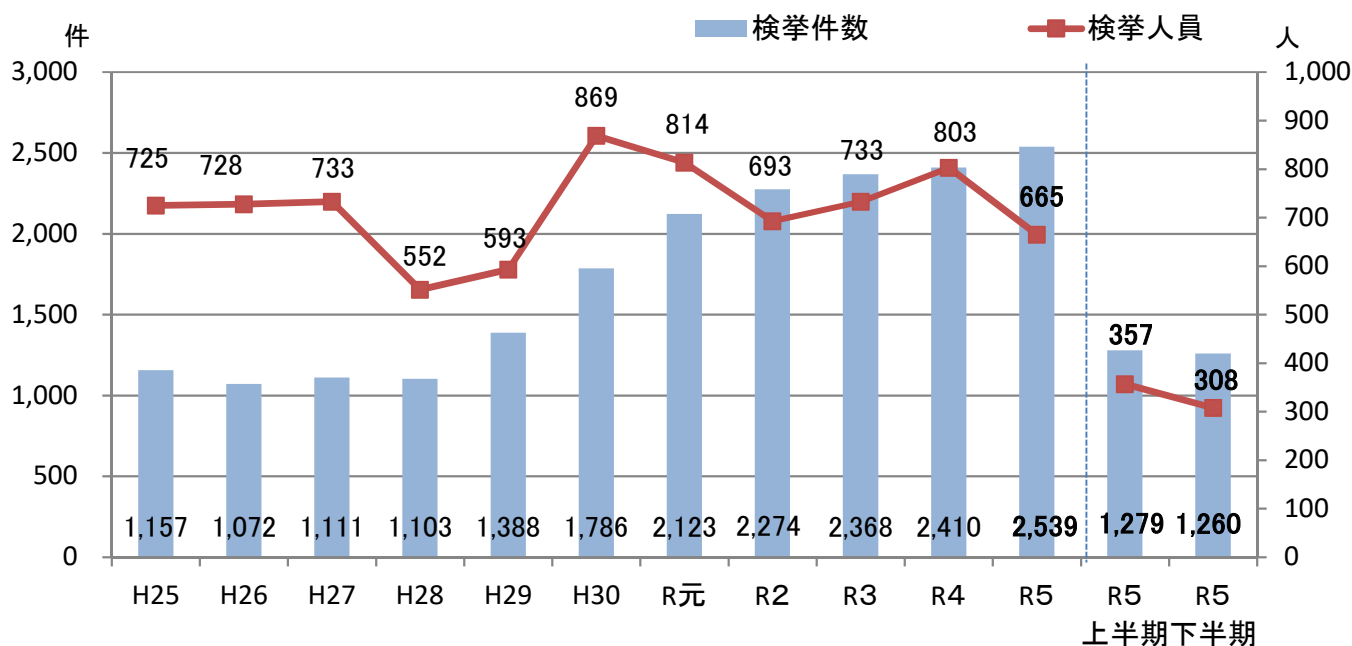
※ 当庁で把握した着信時における犯行利用電話番号の割合であり、非通知や電話番号不明のものは含まない。

※ 国際電話番号及び『050』からはじまるIP電話の犯行利用が増加している。

2 検挙状況

(1) 特殊詐欺本犯

ア 検挙状況の推移 (H25～R5)



※ H24年からR元年まで「振り込め類似詐欺」を計上、H30年から「キャッシュカード詐欺盗」を計上

イ 類型別の検挙状況

	R5年								R4年			
	件数	割合	前年比	増減率	人員	割合	前年比	増減率	件数	割合	人員	割合
オレオレ詐欺	661	26.0%	+16	+2.5%	270	40.6%	-74	-21.5%	645	26.8%	344	42.8%
預貯金詐欺	551	21.7%	+57	+11.5%	153	23.0%	-12	-7.3%	494	20.5%	165	20.5%
架空料金請求詐欺	152	6.0%	+113	+289.7%	22	3.3%	-15	-40.5%	39	1.6%	37	4.6%
還付金詐欺	597	23.5%	+14	+2.4%	105	15.8%	+13	+14.1%	583	24.2%	92	11.5%
融資保証金詐欺	0	0.0%	-11	-100.0%	0	0.0%	-5	-100.0%	11	0.5%	5	0.6%
金融商品詐欺	8	0.3%	+6	+300.0%	18	2.7%	+8	+80.0%	2	0.1%	10	1.2%
ギャンブル詐欺	1	0.0%	-9	-90.0%	0	0.0%	-7	-100.0%	10	0.4%	7	0.9%
交際あっせん詐欺	0	0.0%	±0	—	0	0.0%	±0	—	0	0.0%	0	0.0%
その他の特殊詐欺	2	0.1%	+2	—	0	0.0%	±0	—	0	0.0%	0	0.0%
キャッシュカード詐欺盗	567	22.3%	-59	-9.4%	97	14.6%	-46	-32.2%	626	26.0%	143	17.8%
合計	2,539	100.0%	+129	+5.4%	665	100.0%	-138	-17.2%	2,410	100.0%	803	100.0%

○ 前年と比べ、検挙件数は増加、検挙人員は減少している。

ウ 犯行拠点 (アジト) 摘発状況

	摘発箇所	検挙人員
R5年	3	21
R4年	11	25
前年比	-8	-4

エ 検挙人員（年代別・男女別）

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別割合
R5年	男割合	94 15.9%	277 46.9%	125 21.2%	32 5.4%	59 10.0%	3 0.5%	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	591 100.0%	88.9%
	女割合	11 14.9%	34 45.9%	16 21.6%	4 5.4%	5 6.8%	2 2.7%	2 2.7%	0 0.0%	0 0.0%	74 100.0%	11.1%
	合計	105	311	141	36	64	5	3	0	0	665	
	割合	15.8%	46.8%	21.2%	5.4%	9.6%	0.8%	0.5%	0.0%	0.0%	100.0%	
	前年比	-53	-44	-8	-45	+30	-8	-7	-3	±0	-138	
	増減率	-33.5%	-12.4%	-5.4%	-55.6%	+88.2%	-61.5%	-70.0%	-100.0%	-	-17.2%	
R4年	男割合	148 19.1%	329 46.9%	130 17.3%	72 10.2%	32 4.3%	12 0.8%	8 1.3%	3 0.0%	0 0.0%	734 100.0%	91.4%
	女割合	10 15.8%	26 31.6%	19 31.6%	9 13.2%	2 5.3%	1 2.6%	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	69 100.0%	8.6%
	合計	158	355	149	81	34	13	10	3	0	803	
	割合	19.7%	44.2%	18.6%	10.1%	4.2%	1.6%	1.2%	0.4%	0.0%	100.0%	

- 年代別では、10代から30代までで、全体の83.8%(557人)を占めており、20代が46.8%(311人)と最も多い。
- 男女別では、男が88.9%(591人)を占めており、前年に比べ、女の割合が増加している。
- 男の年代別では、10代から30代までの割合が83.9%(496人)を占めている。
- 女の年代別では、10代から30代までの割合が82.4%(61人)を占めている。

オ 検挙人員（少年・暴力団・外国人別）

		検挙人員	うち少年	うち暴力団	うち外国人
R5年	男	591	89	89	26
	女	74	11	3	4
	合計	665	100	92	30
	前年比	-138	-53	-23	-4
	割合	100.0%	15.0%	13.8%	4.5%
R4年	男	734	143	113	32
	女	69	10	2	2
	合計	803	153	115	34
	割合	100.0%	19.1%	14.3%	4.2%

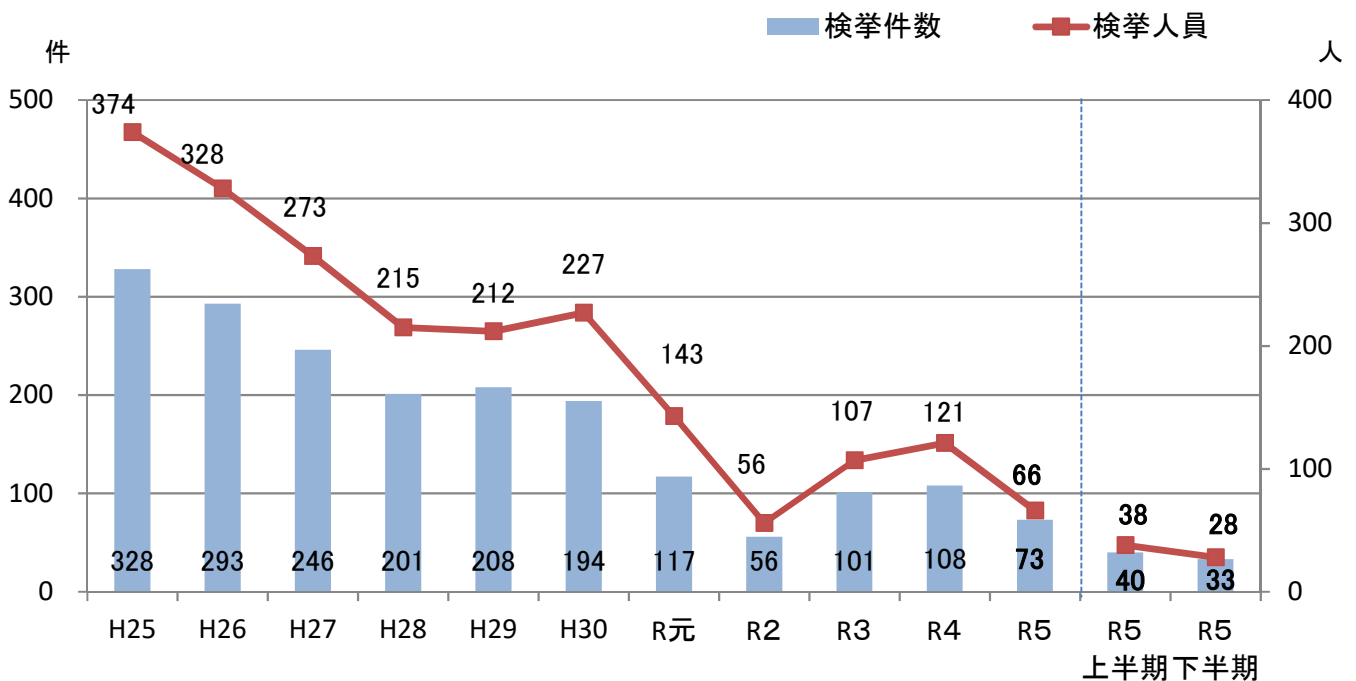
- 検挙人員のうち、少年15.0%(100人)、暴力団構成員等13.8%(92人)、外国人4.5%(30人)であり、前年と比べ、全て減少している。

カ 検挙人員（役割別・男女別）

		首魁	指示役	架け子	出し子	受け子	見張り役	リクルーター	その他	合計
R5年	男	12	9	29	83	338	19	36	64	590
	女	0	0	4	15	50	2	1	3	75
	合計	12	9	33	98	388	21	37	67	665
	前年比	-4	+3	-4	-12	-104	-20	-5	+8	-138
	割合	1.8%	1.4%	5.0%	14.7%	58.3%	3.2%	5.6%	10.1%	100.0%
R4年	男	16	6	36	99	444	38	41	54	734
	女	0	0	1	11	48	3	1	5	69
	合計	16	6	37	110	492	41	42	59	803
	割合	2.0%	0.7%	4.6%	13.7%	61.3%	5.1%	5.2%	7.3%	100.0%

- 受け子の検挙人員が全体の58.3%(388人)で最多となっている。
- 受け子の男女別では、男が87.1%(338人)を占めており、女は、前年と比べ4.2%(2人)増加している。

キ 現場設定(だまされた振り作戦)による検挙状況



- だまされた振り作戦による「現場設定検挙」は、前年と比べ、検挙件数が35件、検挙人員が55人それぞれ減少している。

(2) 特殊詐欺助長犯

類型別の検挙状況

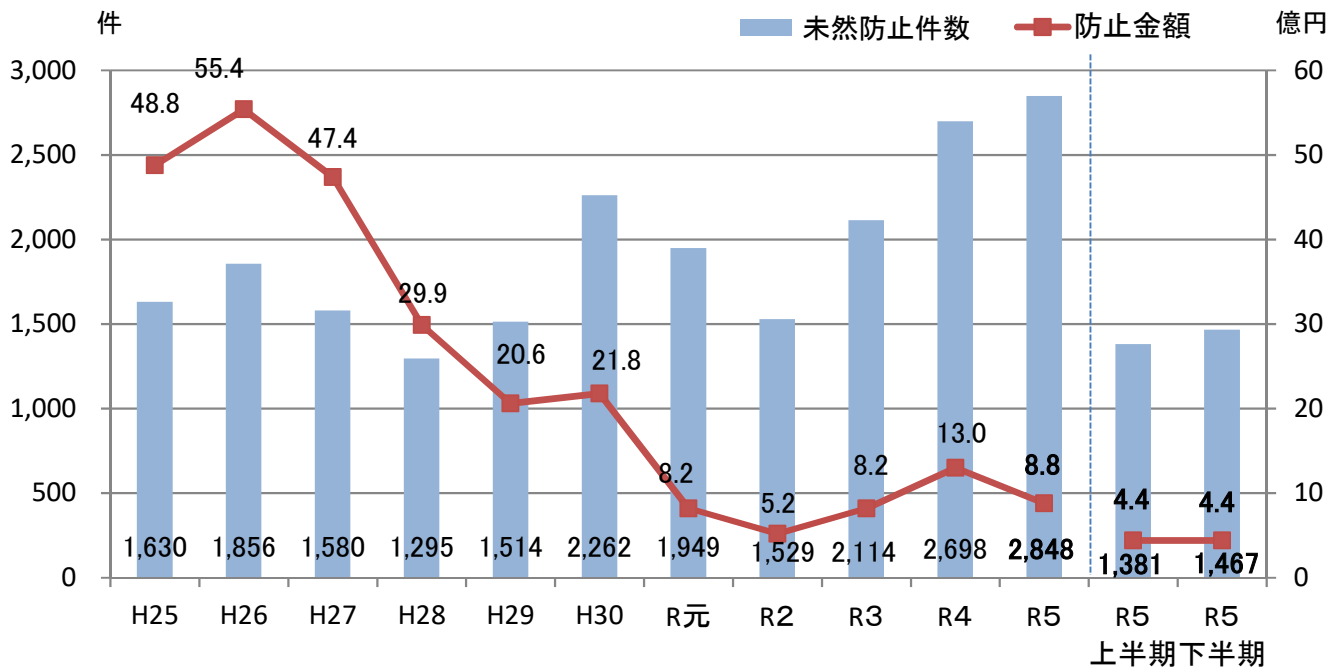
		口座開設詐欺	携帯電話 契約詐欺	犯罪収益移転 防止法違反	携帯電話不正 利用防止法違反	組織犯罪処罰法 違反	合 計
検 挙 件 数	R5年	88	60	416	0	51	615
	R4年	91	34	437	2	0	564
	前年比	-3	+26	-21	-2	+51	+51
	増減率	-3.3%	76.5%	-4.8%	-100.0%	-	+9.0%
検 挙 人 員	R5年	62	60	355	0	5	482
	R4年	58	23	395	2	0	478
	前年比	+4	+37	-40	-2	+5	+4
	増減率	+6.9%	+160.9%	-10.1%	-100.0%	-	+0.8%

○ 助長犯の検挙は、前年と比べ、検挙件数が51件増加し、検挙人員が4人増加している。

3 未然防止等の状況

(1) 未然防止全体

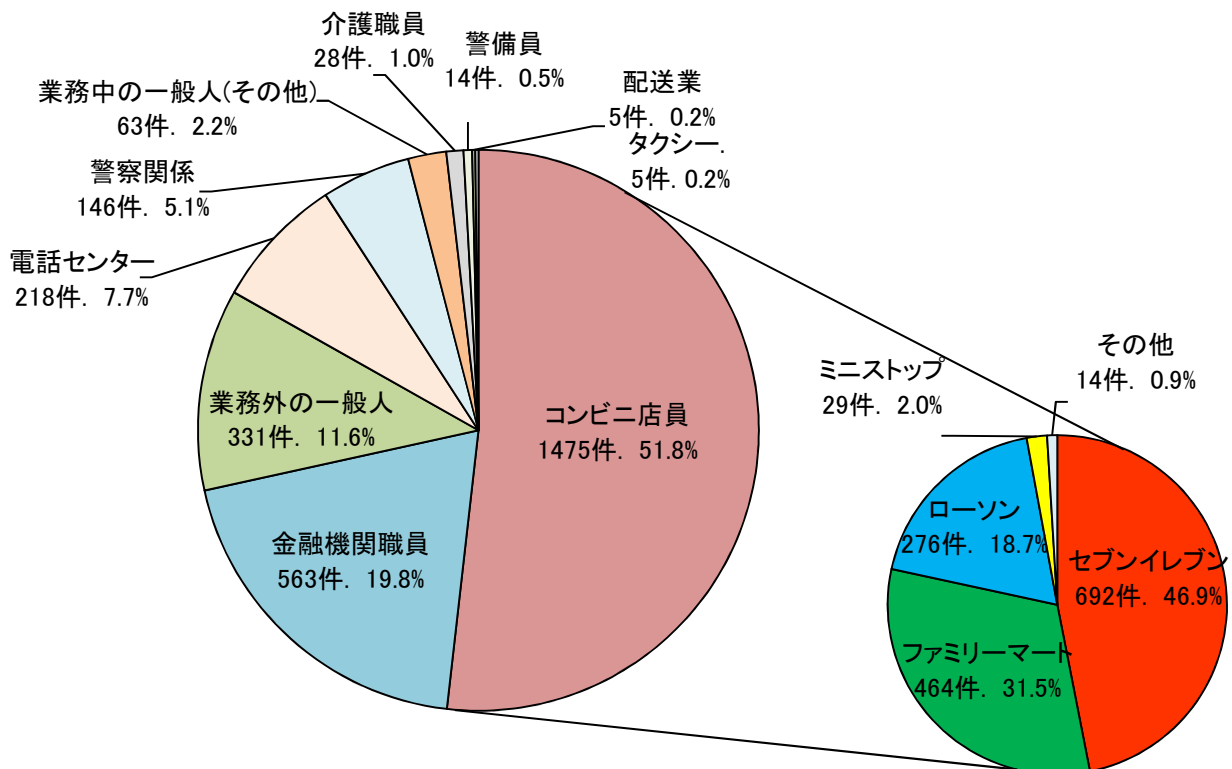
ア 未然防止の推移



○ 未然防止件数は、前年と比べ150件増加、防止金額は、前年と比べ約4.2億円減少している。

イ 職種別の未然防止状況

【未然防止件数 2,848件】



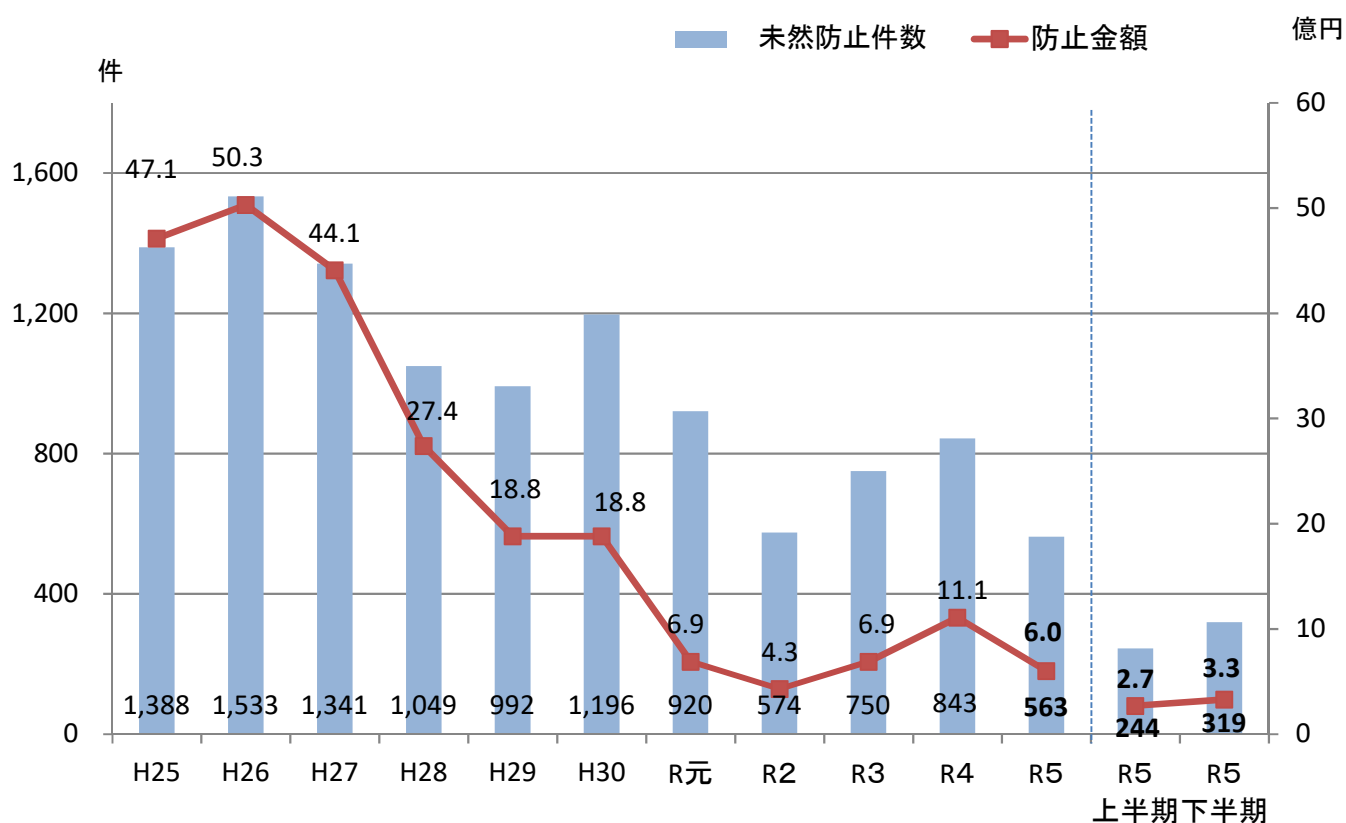
	金融機関職員	警察関係	電話センター	コンビニ店員	業務中の一般人					業務外の一般人	合計
					警備員	介護職員	タクシー運転手	配送業	その他		
R5年	563	146	218	1,475	14	28	5	5	63	331	2,848
割合	19.8%	5.1%	7.7%	51.8%	0.5%	1.0%	0.2%	0.2%	2.2%	11.6%	100.0%
前年比	-280	-199	-11	+657	-13	+7	-1	+3	+14	-27	+150
増減率	-33.2%	-57.7%	-4.8%	+80.3%	-48.1%	+33.3%	-16.7%	+150.0%	+28.6%	-7.5%	+5.6%
R4年	843	345	229	818	27	21	6	2	49	358	2,698

※ 業務外の一般人とは、友人、知人、ATM利用者等を示す

- コンビニ店員による未然防止が、全体の51.8%(1,475件)を占め、前年と比べ、80.3%(657件)増加している。

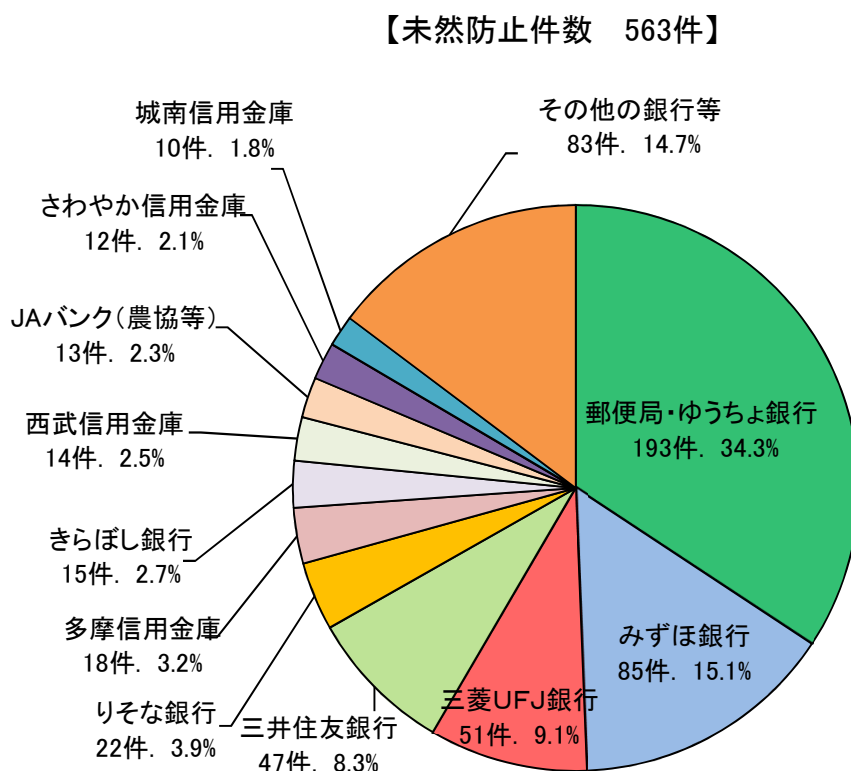
(2) 金融機関による未然防止

ア 未然防止の推移



- 未然防止件数は、前年と比べ280件減少、防止金額は、約5.1億円減少している。

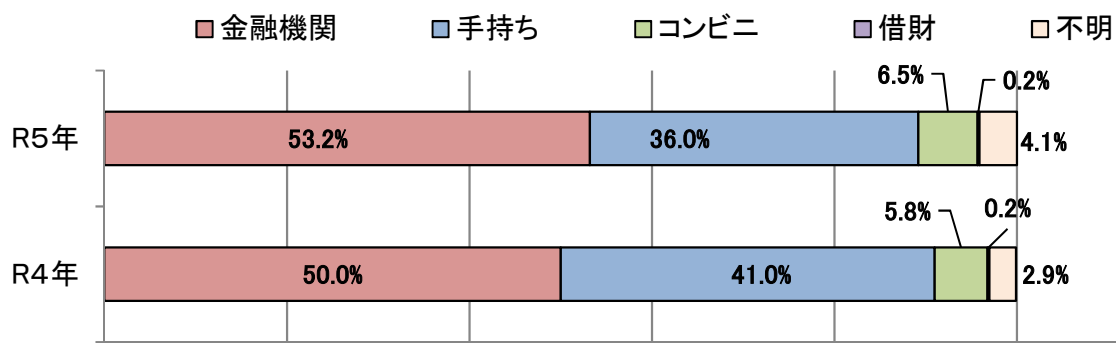
イ 金融機関別の未然防止状況



(3) 被害金調達状況(全体)

方法別の被害金(現金)調達回数

	金融機関	コンビニ	借財	手持ち	その他不明	合計
R5年	657	80	3	444	50	1,234
割合	53.2%	6.5%	0.2%	36.0%	4.1%	100.0%
R4年	627	73	3	514	36	1,253
割合	50.0%	5.8%	0.2%	41.0%	2.9%	100.0%

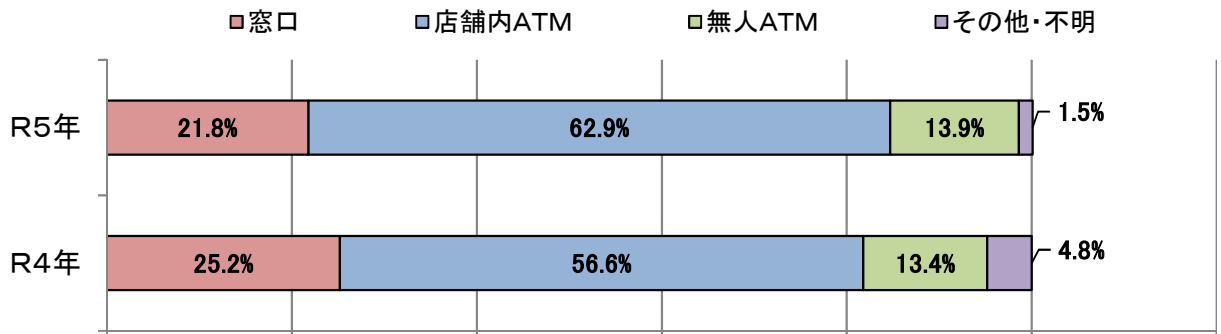


○ 被害金(現金)の調達は、「金融機関」、「コンビニ」の占める割合が増加している。

(4) 金融機関における被害金調達

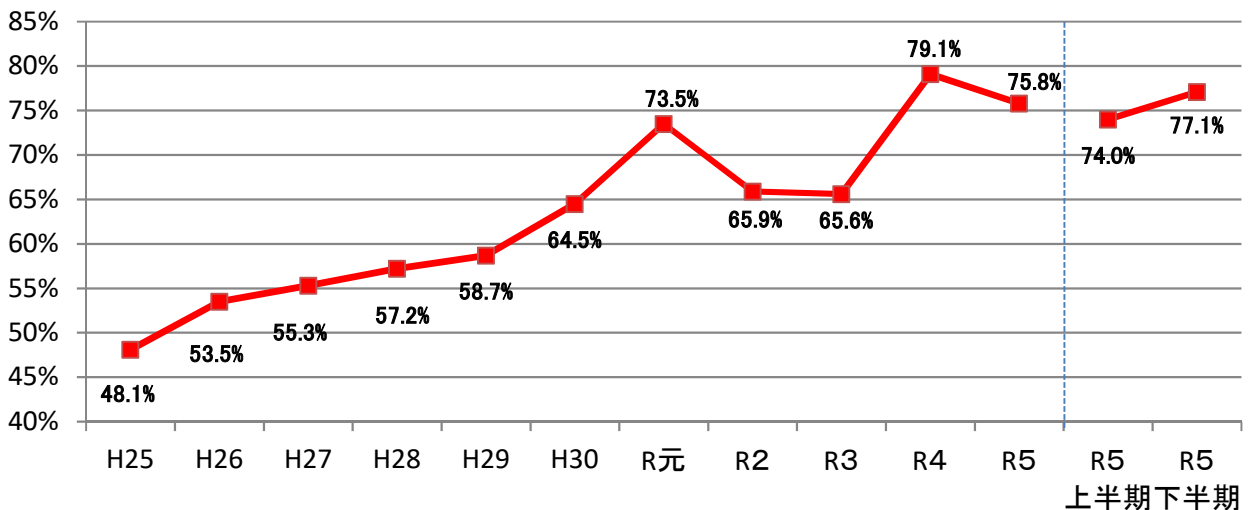
方法別の被害金(現金)調達回数

	窓口	A T M			その他不明	合計
		店舗内ATM	無人ATM	小計		
R5年	143	413	91	504	10	657
割合	21.8%	62.9%	13.9%	76.7%	1.5%	100.0%
R4年	158	355	84	439	30	627
割合	25.2%	56.6%	13.4%	70.0%	4.8%	100.0%



○ ATMでの調達の割合は、店舗内と無人を合わせて全体の76.7%(503回)を占めている。

(5) 金融機関窓口による未然防止率



※ 未然防止率

= 窓口での未然防止件数(447件) ÷ (窓口での未然防止件数(447件) + 窓口での引き出し件数(143件)) × 100

○ 被疑者は、被害者が金融機関で現金を調達する際に、行員等にその理由を聞かれることを想定し、被害者に対して次のように答えるように指示している場合がある。

R5年

- ・ リフォーム代、修繕費用として
- ・ 法事で使うため
- ・ 車を購入するため
- ・ 子供(孫)の結婚費用として
- ・ 子供の住宅購入費用とするため 等

(6) 未然防止の好事例

1 オンライン英会話講師による未然防止

防止者が被害者（40代・女性）とパソコンで、オンライン英会話授業を開始した際、被害者が慌てている様子であったことから不審に思い、理由を確認したところ、「突然パソコン画面に警告が出て、画面がロックされてしまった、今マイクロソフトの人と電話をしていたところです」と話したことから、それは詐欺だと思い、「すぐに電話を切った方がいいですよ」と説得し、被害を未然に防止した。

2 配送業者による未然防止

防止者が荷物搬入のため、コンビニ店内で作業中、現金を握りしめ、電子マネー売場の前で通話している被害者（70代・女性）を発見したところ、被害者が焦っているような状況が見受けられたため、防止者が声を掛けると、「電話会社から支払いのために、コンビニで電子マネーを買ってくるように言われたの」と話したことから、「それは詐欺ですよ」と説得して110番通報し、被害を未然に防止した。

3 タクシー運転手による未然防止

防止者が乗車勤務中、駅ロータリーから乗り込んできた被害者（80代・男性）が「コンビニに向かってほしい」旨を申し立てたため、被害者にコンビニに行く理由を尋ねると、「未納料金の支払いでコンビニに行かなければならない」と話したことから、高額を支払いをコンビニで振り込むのはおかしいと思い、「一緒に交番に行きましょう」と声を掛け、近くの交番に連れて行き、被害を未然に防止した。

4 介護職員による未然防止

防止者が、介護のために被害者（80代・女性）宅を訪問したところ、被害者が電話口で「還付金」「ATM」等と通話しているのが漏れ聞こえたため、おかしいと思い様子を見てみると、通話終了後、すぐに被害者が一人でATMに向かおうとしたことから、「ご家族に確認した方がいいですよ」と声を掛け、ATMに行くことを制止し、被害を未然に防止した。

5 コンビニ店員による未然防止

防止者が、コンビニ店舗で勤務中、被害者（10代・男性）が高額の電子マネーを購入しようとしているのを不審と思い、声をかけたところ、「パソコンがウイルスに感染し、電子マネーを買ってくるように言われました」と話したことから、「それは悪い人に騙されてるから、買っちゃだめだよ」と声を掛け、110番通報し、被害を未然に防止した。